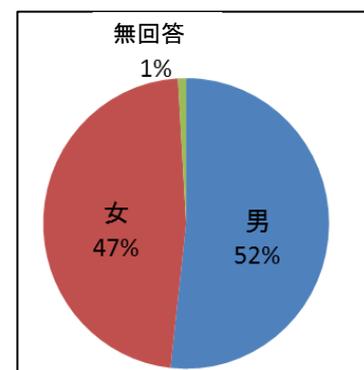
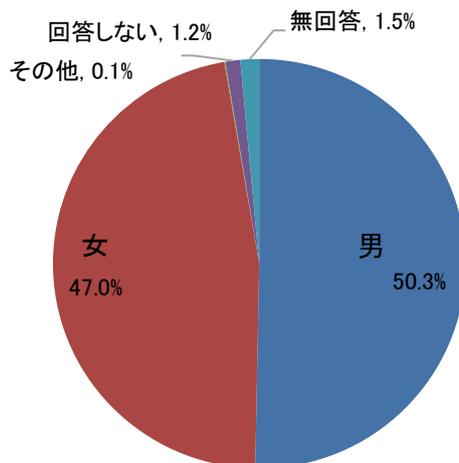


## 社会環境調査（アンケート調査）の設問と回答

### 1) 子ども調査の結果

#### ■属性

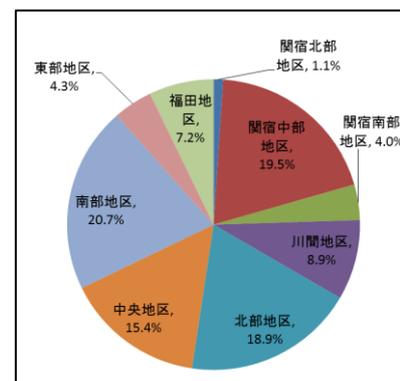
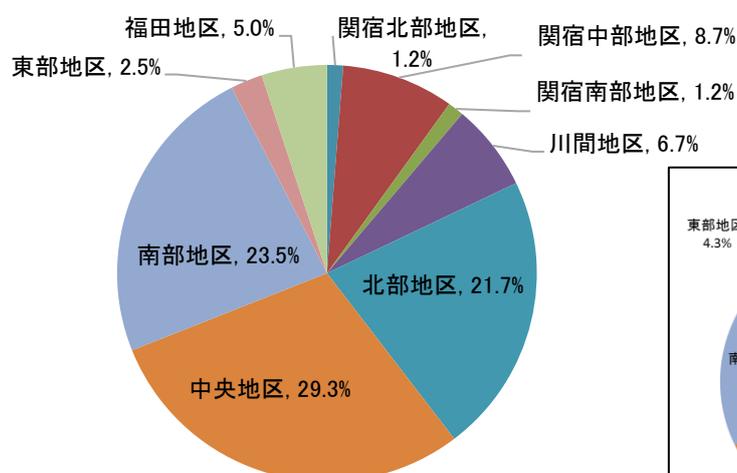
##### ①性別 N=1292



前回調査時の結果

・性別の回答選択肢を見直し、多様性に配慮したものとしたところ、「(男子でも女子でもない)その他」、「回答しない(意思表示)」および「無回答(回答の意思は不明)」が計2.8%(計35名)あった。そのため、「男子」「女子」の単純な性別集計では拾い上げられない回答が存在することから、今回は男女別の集計は行わなかった。

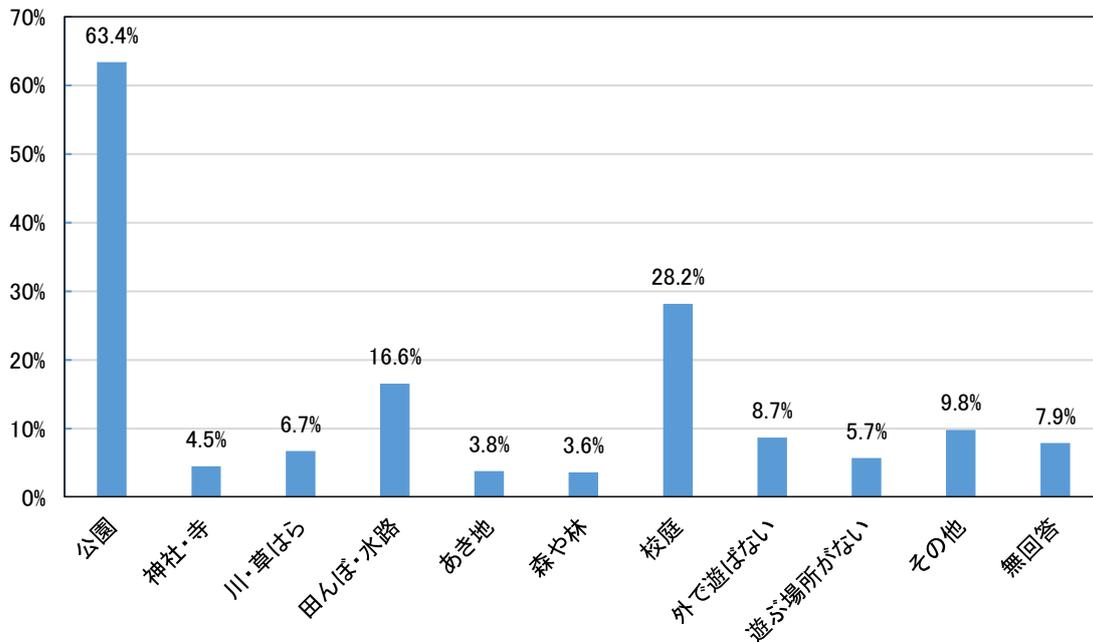
##### ②学校のある地区 N=1292



前回調査時の結果

・前回調査と比較すると、中央地区の小学校に通う児童数の増加が目立つ。一方、関宿中央地区の児童数が減少している。

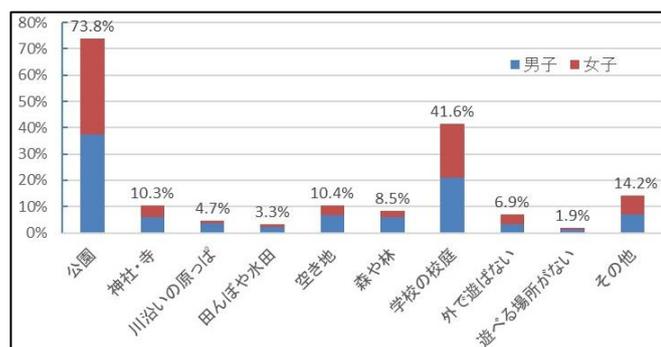
■問3：自然のある場所の中で、ふだん、よく遊んでいる場所、よく行く場所はどこですか？  
(複数回答)



・前回調査と同様に公園や学校の校庭で遊んでいる子どもが多く、川やあき地、森などで遊ぶ子供は少ない。

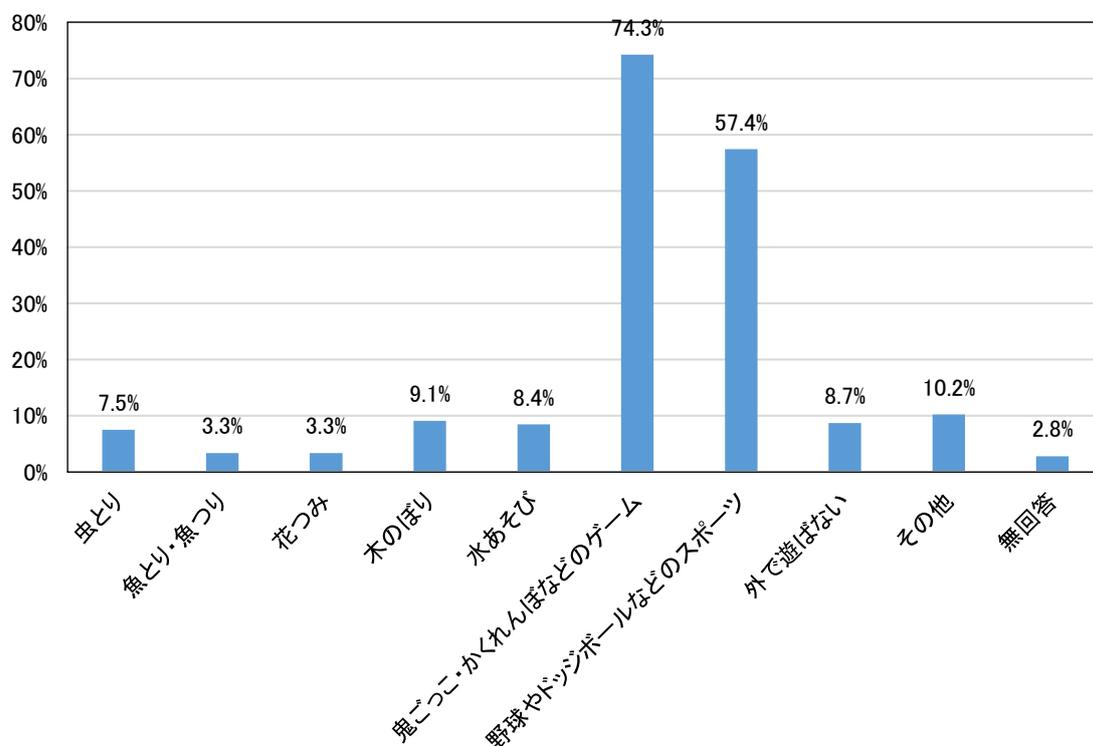
(回答「その他」の例)

- ・ 自宅の庭
- ・ 友達の家の庭
- ・ 線路沿い
- ・ 日曜日に友達と自転車でコウノトリの里であそんでいる
- ・ 自治会館・子ども館の広場
- ・ 土手・河川敷
- ・ 家の畑
- ・ 家の前の道路



前回調査時の結果

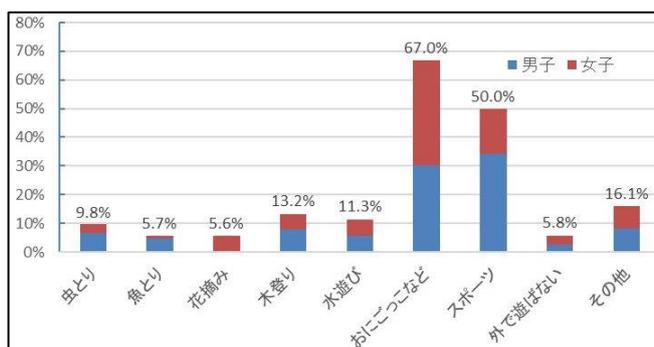
■問4：外であそぶとき、どんなことをしてあそびますか？（複数回答）



・外で遊んでいるものの、校庭や公園でできる鬼ごっこやスポーツの割合が多く、直接生き物とふれ合いながら遊ぶことは少ない。

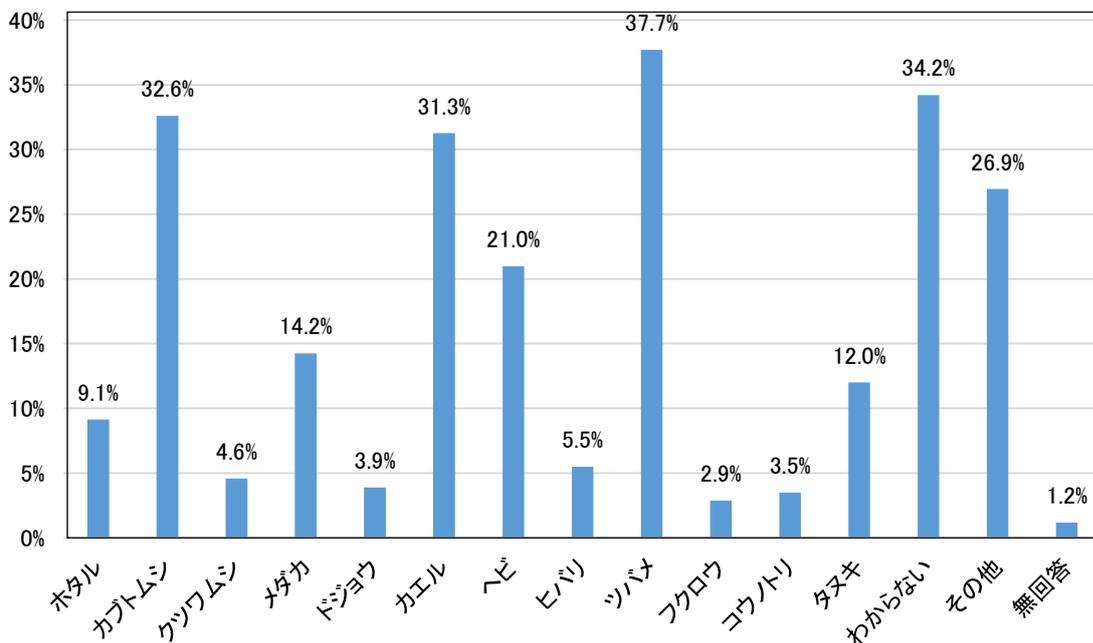
（回答「その他」の例）

- ・（外で）スマホゲーム・ビデオゲーム
- ・自然の中でねっころがる・走り回る
- ・遊具（ブランコ、ジャングルジム等）で遊ぶ
- ・虫や草、花を見る
- ・自転車に乗る
- ・絵を描く
- ・探検ごっこ
- ・おしゃべり
- ・ダンス
- ・いもぼり
- ・スケートボード
- ・おままごと



前回調査時の結果

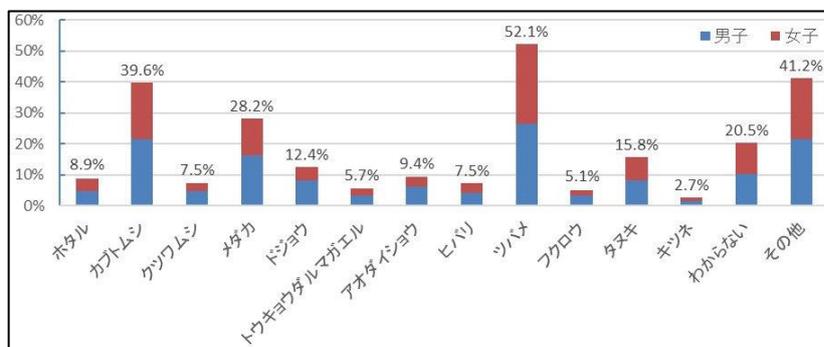
■問5：次の生きもののうち、家の近くや通学路、あそび場には、どんな生きものがいますか？  
（複数回答）



- ・ 詳細な種レベルでの確認を意図したものではないため、  
（前回）トウキョウダルマガエル → （今回）カエル  
（前回）アオダイショウ → （今回）へび  
と回答選択肢を変更した。その結果、「いる」との回答割合が増えた。
- ・ 家の近くの生き物では、ツバメ、カブトムシをよく見ている。一方、「わからない」と回答した児童も全体の 1/3 を占めた。
- ・ 野田市内でキツネの正式な確認記録がないため、今回、回答選択肢から「キツネ」を削除し、「コウノトリ」を追加した。

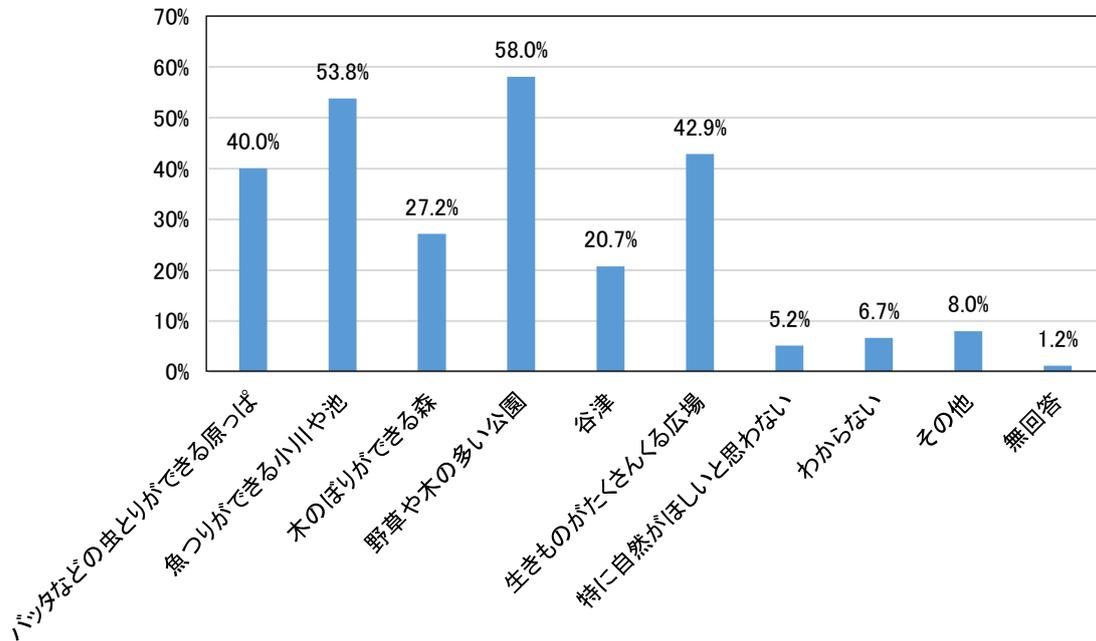
（回答「その他」の例）

- ・ ハエ、ハチ、カ、ガ
- ・ アリ、ミミズ、ダンゴムシ
- ・ バッタ、カマキリ、ゴキブリ、セミ
- ・ イヌ、ネコ、ハクビシン、アライグマ
- ・ コウモリ
- ・ カワセミ、キジ、カラス、ハト、白さぎ
- ・ たか、とんび
- ・ かめ



前回調査時の結果

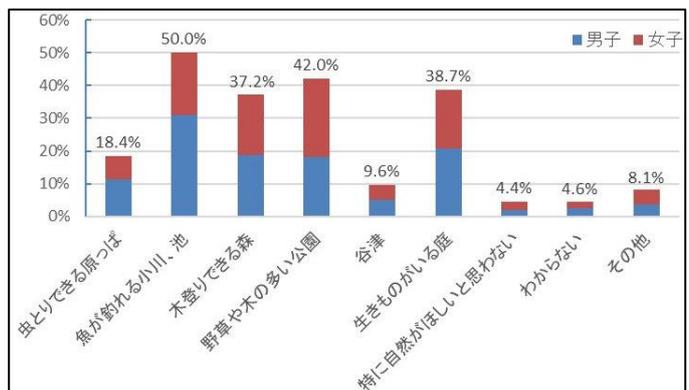
■問6：家の近く、または野田市内にどんな自然があったらいいな、と思いますか？（複数回答）



・野草や木の多い公園、魚つりができる小川や池を希望する意見が多かった。

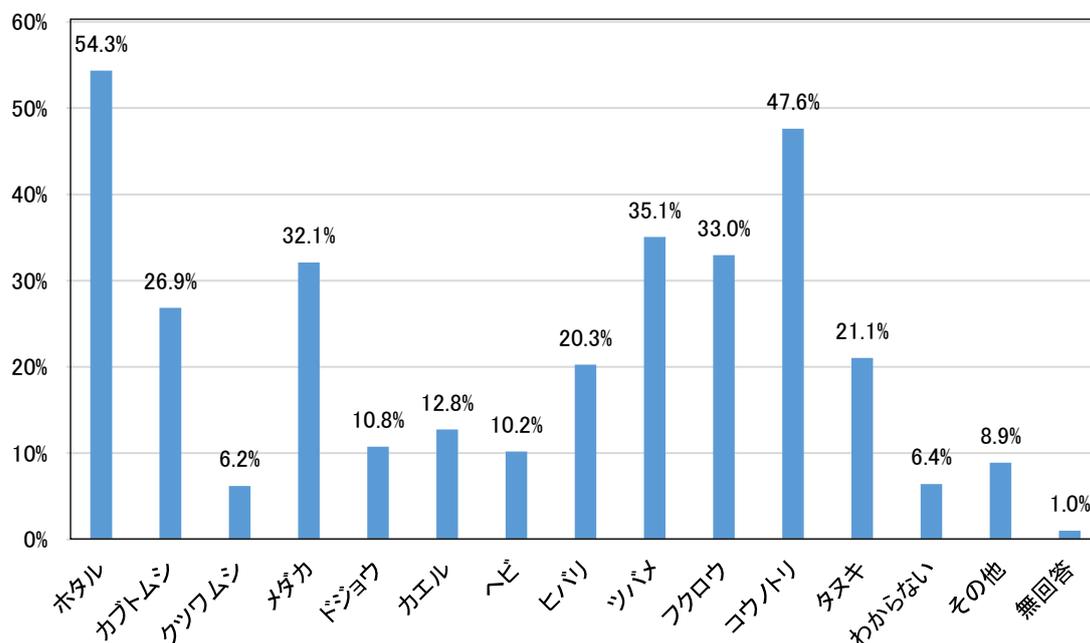
（回答「その他」の例）

- ・木や林や森など
- ・山や丘
- ・海
- ・お花がつめて、お花がいっぱいある公園
- ・スポーツができる広場
- ・水の流れている大きな森
- ・動物とふれあえる場所
- ・人の手が入っていない原生林
- ・毒虫がいない、のびのび遊べる公園・広場
- ・クワガタがたくさんいる公園
- ・生きものが安心してくらせる森
- ・子どもたちだけで行ける、自然にふれあえる所
- ・自然をまなべる公園
- ・チョウのらくえん
- ・人の手で作られていない本当の自然があったらいいなと思います
- ・浅くて遊べる川



前回調査時の結果

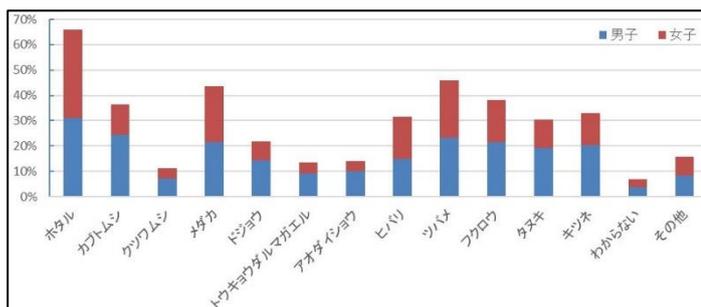
■問7：10年後、どんな生きものが野田市内でふえるといいな、と思いますか？（複数回答）



・ホタルが増えてほしいという回答が最も多かった。次いでコウノトリ、ツバメの順となった。

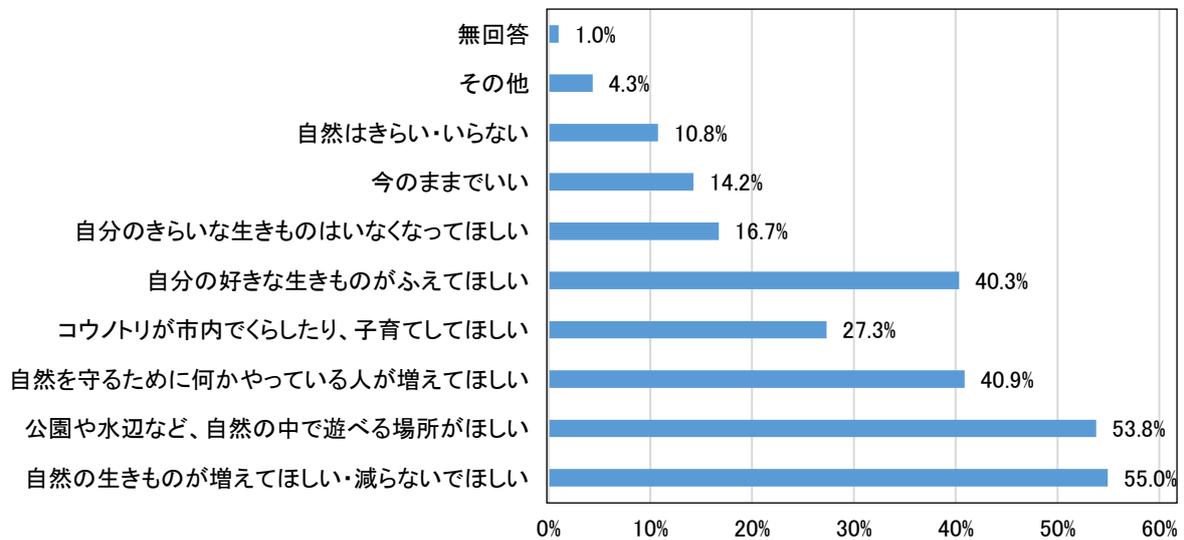
（回答「その他」の例）

- ・犬、猫、アライグマ
- ・ウサギ、ゴリラ、馬、リス、カワウソ
- ・ヒヨコ
- ・チョウ、バッタ、カナブン、アリ、クモ、クワガタ、かまきり、ヘラクレスオオカブト
- ・トカゲ、ヤモリ、毒のないヘビ
- ・イモリ
- ・カワセミ、メジロ、たか、キジ
- ・カモ、あおさぎ、しらさぎ、フクロウ
- ・カニ、ウナギ、日本のザリガニ
- ・メダカだと自然はかいがなくなると思う
- ・ツチノコ
- ・ゼツメツキグシュ、天ねんきねん物
- ・全部
- ・ふえなくていいと思います
- ・ぜったいになにもふえてほしくない
- ・動物は怖い



前回調査時の結果

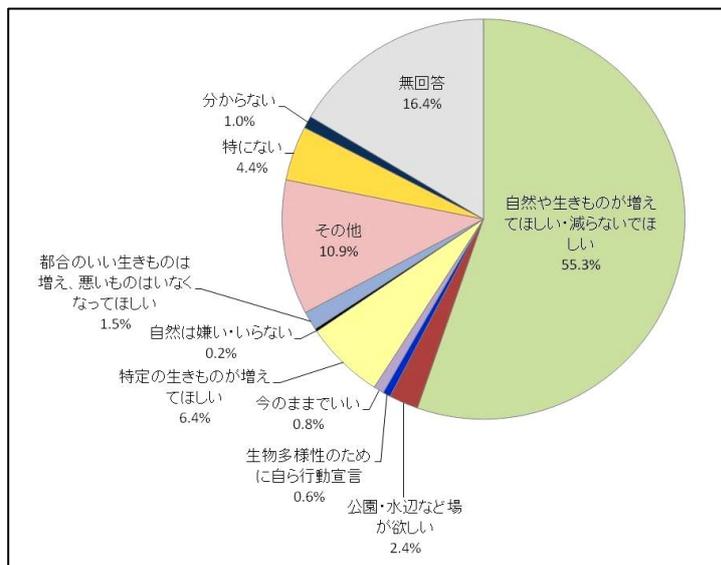
■問8：10年後、野田市の自然や生きものがどうなったらいいと思いますか？また、野田市の自然や生きものについて気になっていることがありますか？（複数回答）



- ・自然や生きものが増えてほしい、減らないでほしいとの意見が半数以上を占めた。
- ・自分の好きな生きものなど、特定の生きものが増えてほしいとの意見も比較的多く見られた。
- ・コウノトリが暮らせる環境を約3割の児童が望んでいる。

（回答「その他」の例）

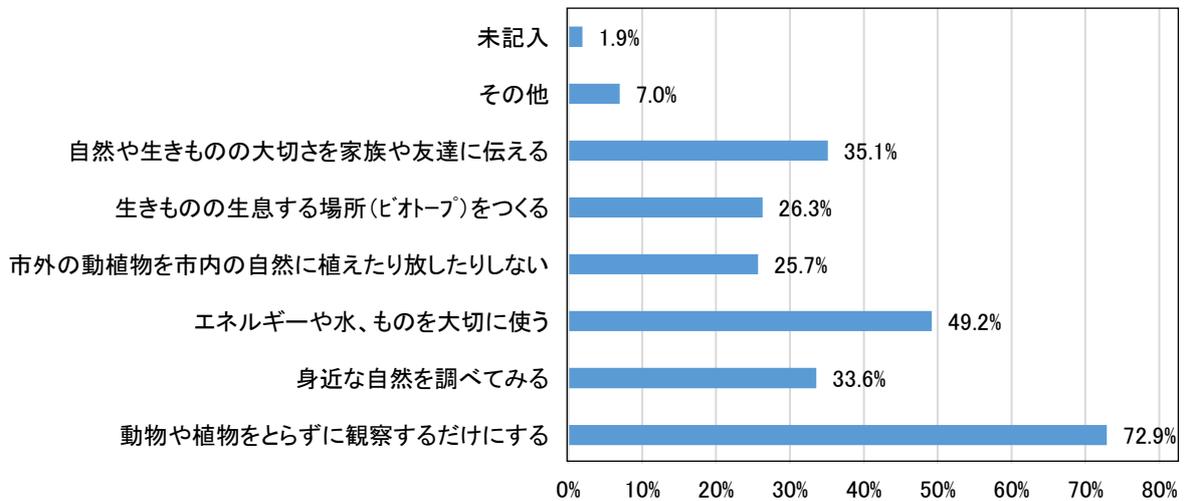
- ・たくさんの生物がたくさんになってほしい
- ・ぜんめつしかけている生物など自然がもっと増えてほしい
- ・ぜつめつ（生き物）をさせないために協力してほしい
- ・コウノトリなど最近減っている生きものがもっと増えてほしい
- ・清水公園にあたらしく、ふくろうがいる森など観光スポットができれば！
- ・自然の木を切ってまで家をたてないでほしい
- ・力は全めつさせたい
- ・自然が増えるのはいいが、虫は少なくなってほしい
- ・生きものがすきではないので、ふえてはほしくないです
- ・特にない
- ・へんにかえたらなれるのがむずかしいしなれている今がいい
- ・野生動物が民家にくるのがこわいから、えさ場などを作ってほしい



前回調査時の結果

※前回は自由記述形式で実施したため、今回の調査結果と単純比較はできない

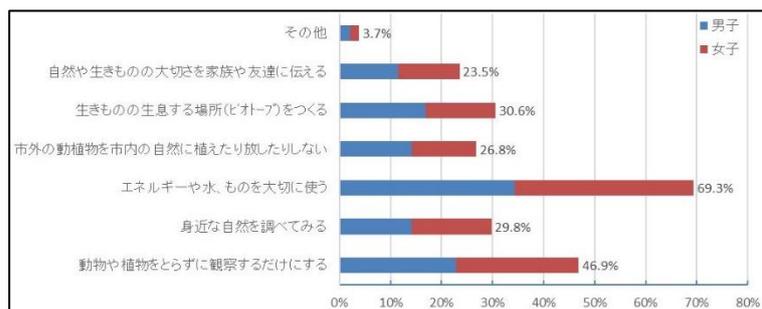
■問9：自然やたくさんの生きものを守っていくために、今、自分ができること・したいと思う事は、どんなことですか？（複数回答）



・ 前回 2 位だった「動物や植物をとらずに観察だけにする」が 1 位となった。

(回答「その他」の例)

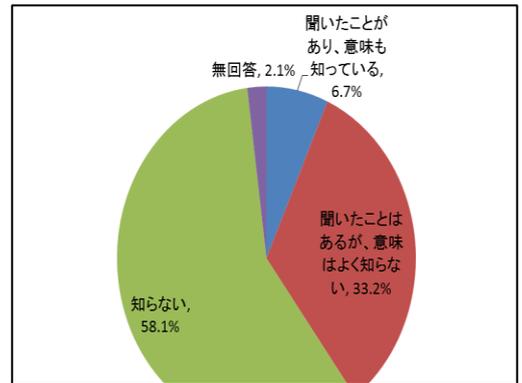
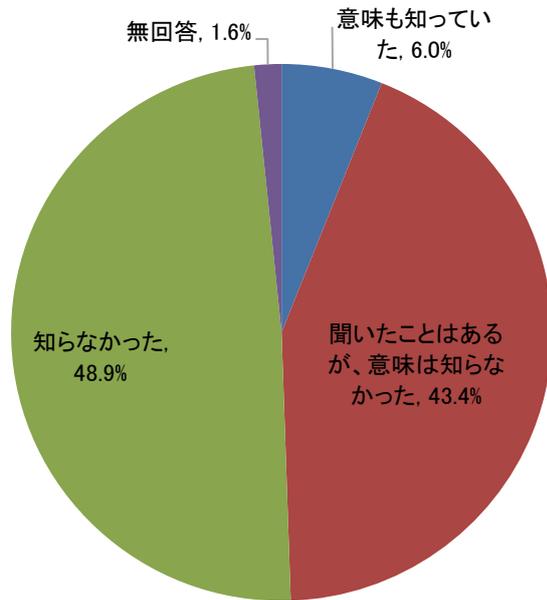
- ・ 外に落ちているゴミを減らす
- ・ 自然の良い所を家族に伝えたい
- ・ 水をまく。野田市内の人たちが花やしよくぶつに水をあげる
- ・ 多くの人に自然をしてもらうために会をひらきたい
- ・ 自然の生きもののためのルールをつくりたい（自然の生きものにはエサをあたえずに、自然のままにしておくなどや、自然のしよく物を取りすぎないなど）
- ・ 自然が残っている森に人工の巣を作ってより動物がすみやすくできる森を作ったらいいと思う
- ・ 自然を守るボランティア活動を行う
- ・ 自然の大切さを全国にひろめたい
- ・ 大切にしていない人がいたら注意する
- ・ 生き物（虫など）をつかまえたら少し観察してもといたばしよに、かえしてあげる
- ・ 太陽光パネルをつくらない
- ・ いきものがすき
- ・ 今、関宿小にあるビオトープをつづける
- ・ なんでもいい。自然に興味がない
- ・ なにもしたくない
- ・ わからない



前回調査時の結果

■問10：生物多様性（せいぶつたようせい）」という言葉を知っていますか？

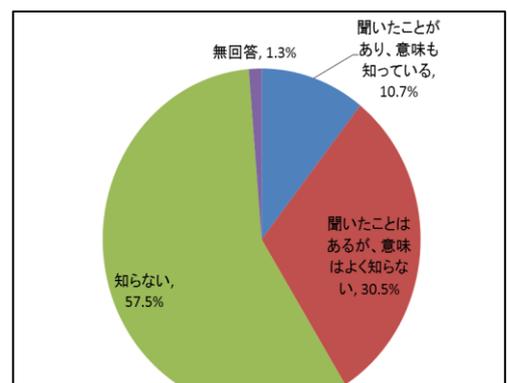
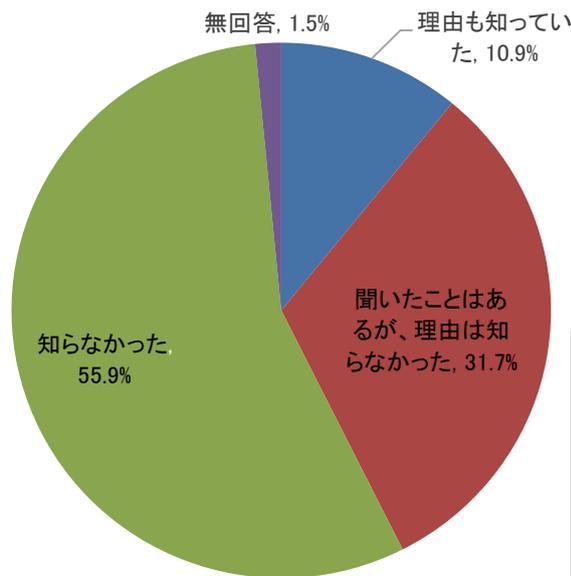
N=1292



前回調査時の結果

■問11：地球温暖化によって、もともと野田市にはすんでいなかったような、南の地方の生きものが、野田市にすみつくようになってきているということを知っていますか？

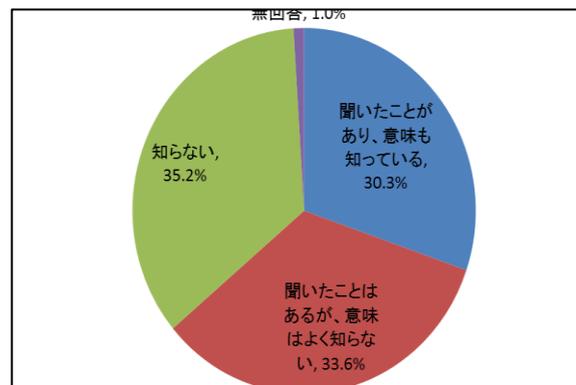
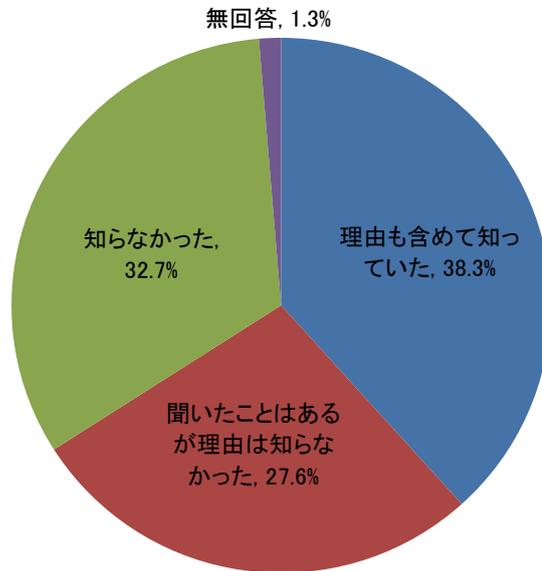
N=1292



前回調査時の結果

■問12：ペットや野田市以外で捕まえてきた生きものを、外に放してはいけないということを知っていますか？

N=1292



前回調査時の結果

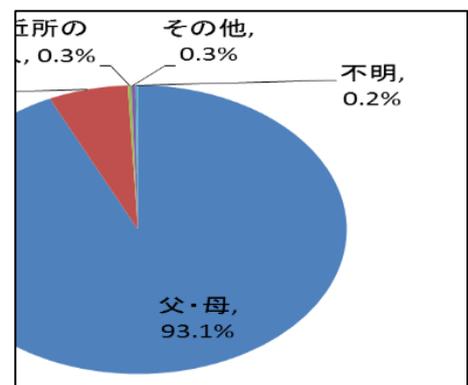
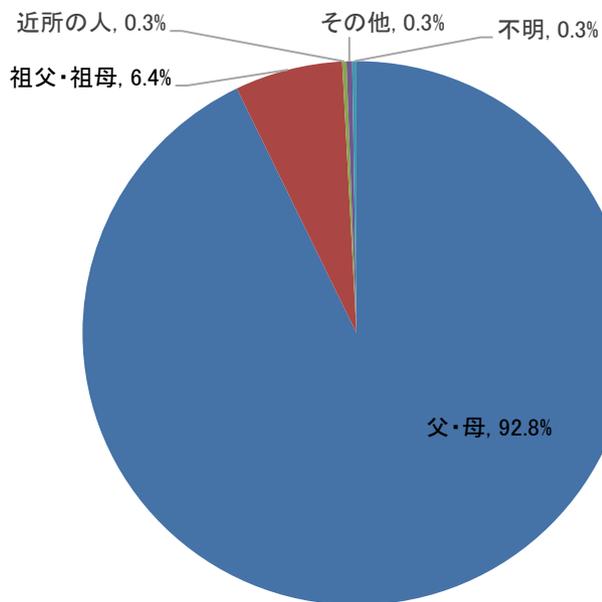
・生物多様性と地球温暖化と比較して、外来種については「意味を知っている」と答えた割合が約4割近くと目立って多くなっている。

## 2) 保護者等調査の結果

### ■属性

#### ①続柄

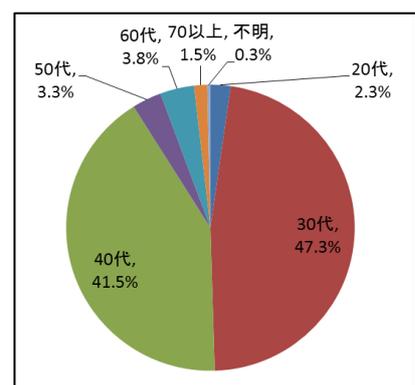
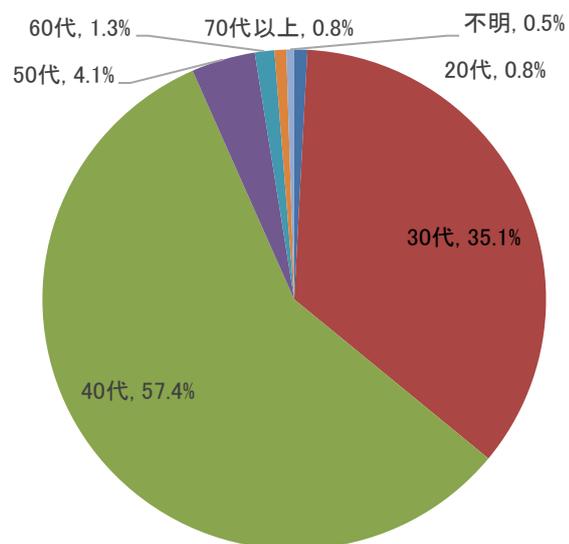
N=1195



前回調査時の結果

#### ②年齢層

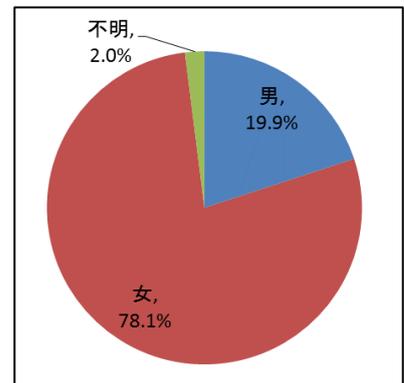
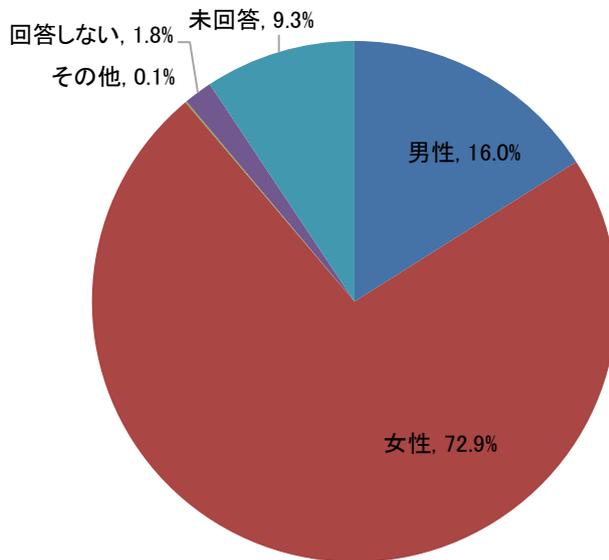
N=1195



前回調査時の結果

③性別

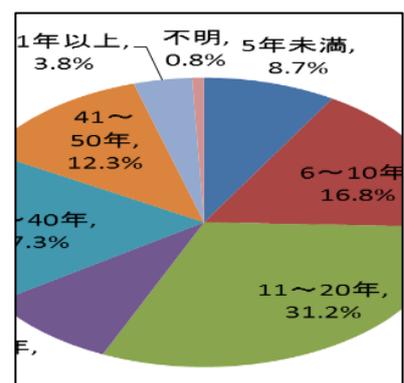
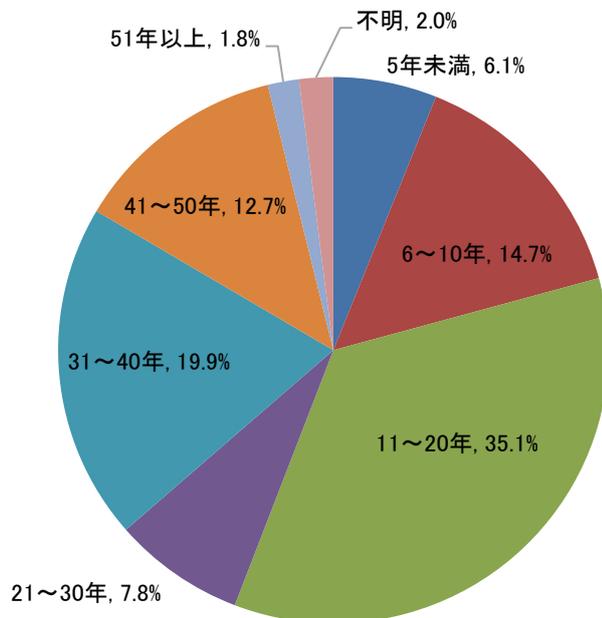
N=1195



前回調査時の結果

④居住年数

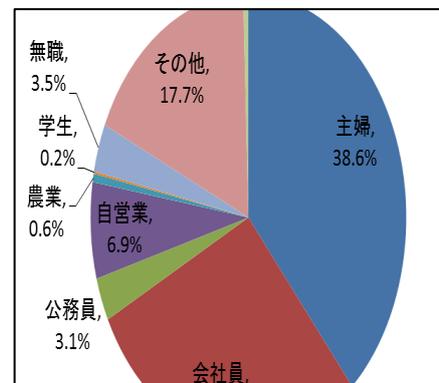
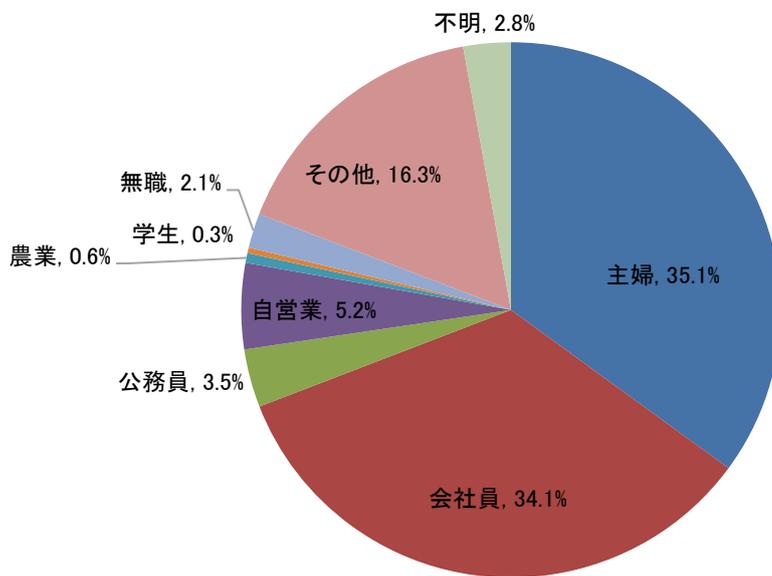
N=1195



前回調査時の結果

⑤職業

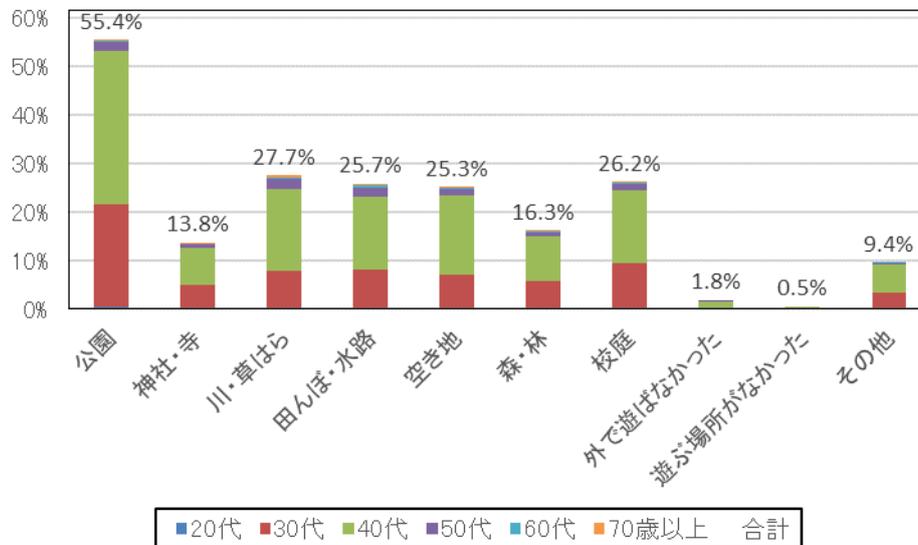
N=1195



前回調査時の結果

・「②年齢層」では、40代が最も多く、約6割であった（前回調査では30代が最も多かった）。

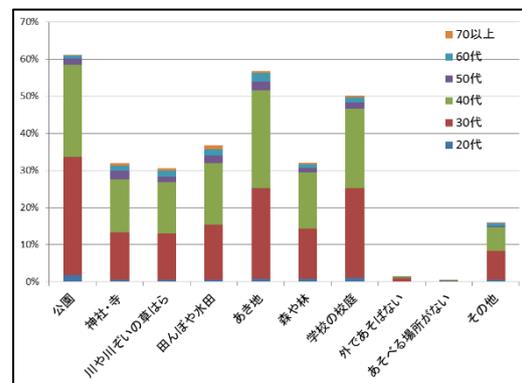
■問7：子ども（小中学生）のころ、いつもどんな場所であそんでいましたか？（複数回答）



- ・ 前回調査と同様に、公園や校庭で遊んでいたとの回答が多かったが、校庭と同じ割合で川・草原、田んぼ・水路、空き地も遊び場となっていた。
- ・ 年齢別では、高年齢者ほど、川・草原や田んぼ・水路で遊んでいたことがわかる。40代以下の年齢層では、公園で遊んでいた割合が最も高い。

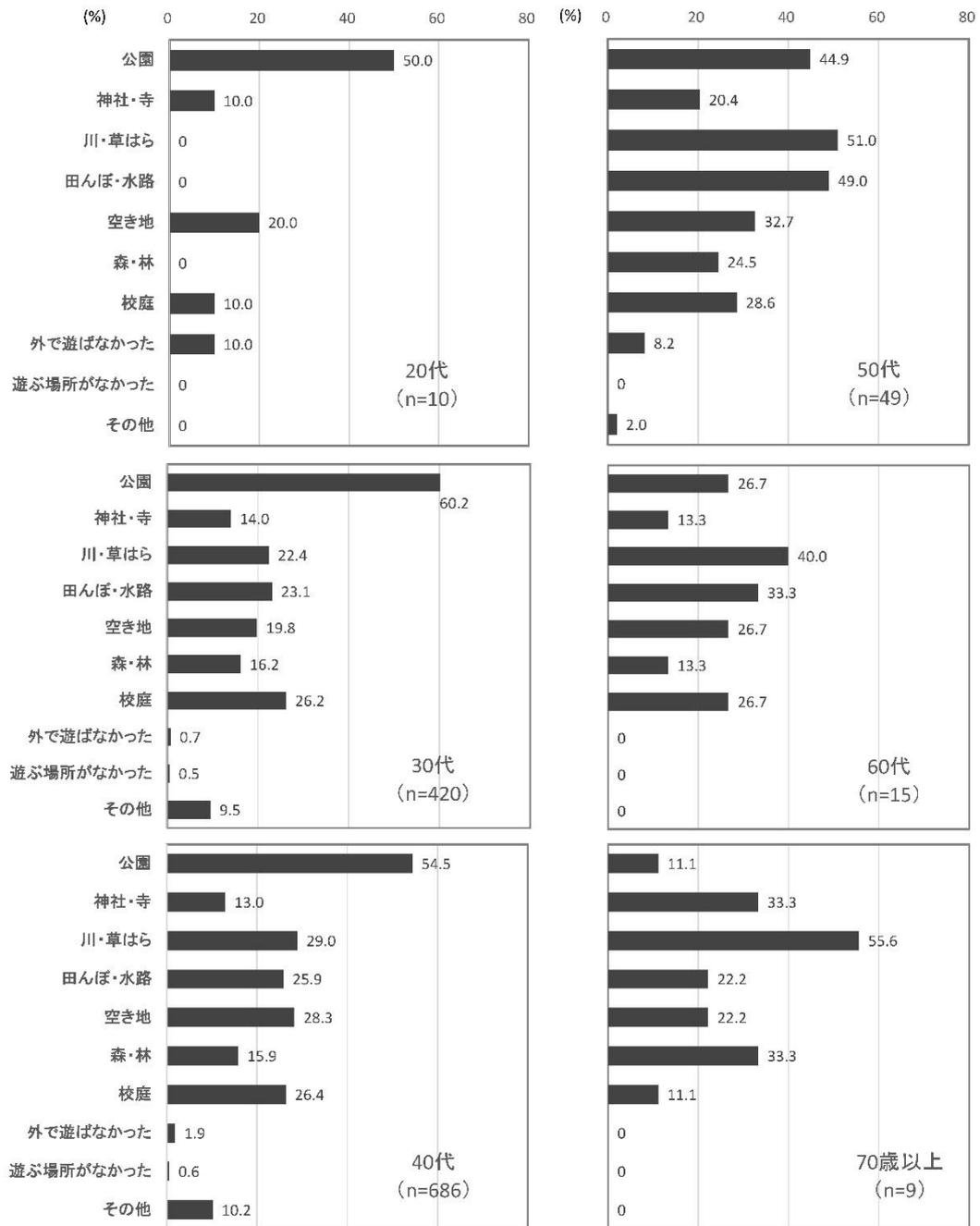
（回答「その他」の例）

- ・ 庭
- ・ 家の前
- ・ 車通りが少ない道
- ・ 駐車場
- ・ 学童
- ・ 子ども館
- ・ 池
- ・ 土手
- ・ 団地の中

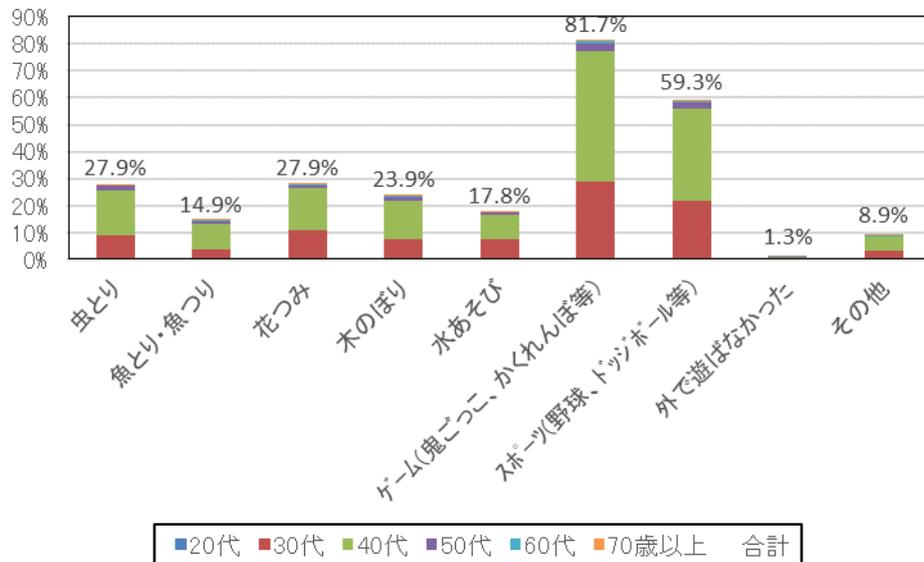


前回調査時の結果

(年代別集計)



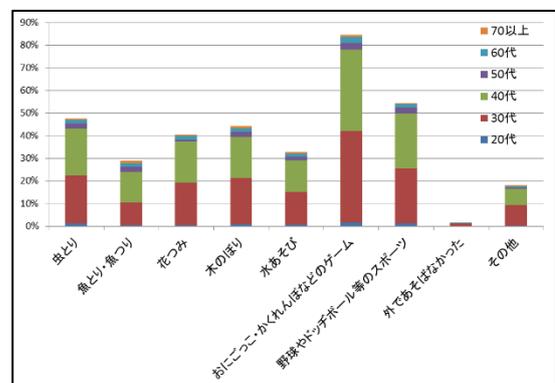
■問8：そこで、どんなことをしてあそびましたか？（複数回答）



- ・鬼ごっこ、かくれんぼ等の「ゲーム」や、野球、ドッジボール等の「スポーツ」で遊ぶ割合が高い。
- ・年齢層別にみても、すべての年齢層で「ゲーム」「スポーツ」の割合が高かった。また、50代以上では「魚とり・魚つり」及び「木登り」をした割合が高いが、40代以下では割合が低い。

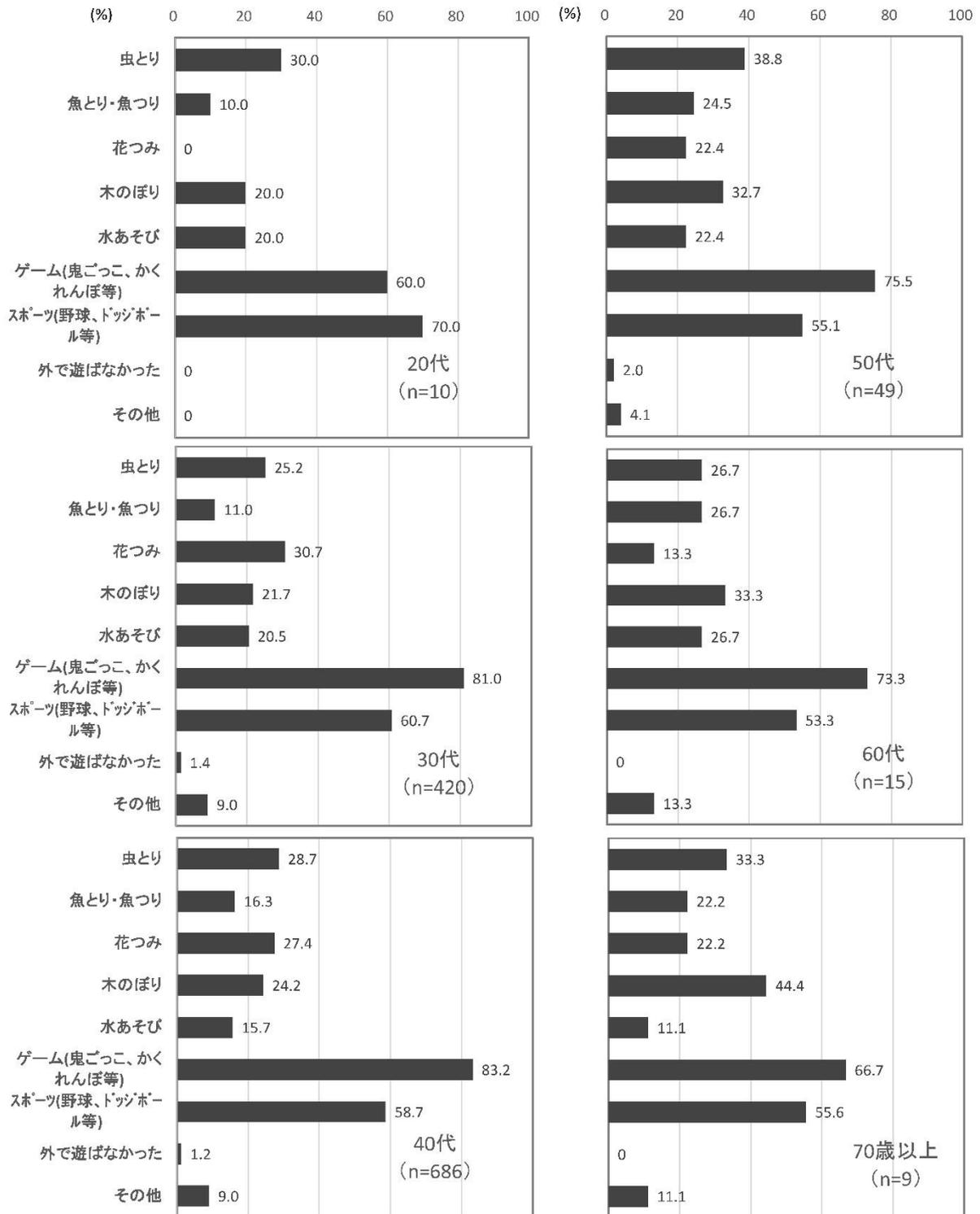
(回答「その他」の例)

- ・なわとび、ゴム飛び
- ・バドミントン
- ・探検
- ・ひみつきちをつくってあそんでいた。おとし穴をつくっていたずらをしていた
- ・ザリガニ釣り
- ・あんこだま、けまりだま
- ・竹うま、缶けり
- ・泥遊び、砂遊び
- ・ホッピング、フラフープ
- ・ミニ四駆
- ・とっとろめとり(?)
- ・テレビゲーム
- ・しじみとり
- ・お人形ごっこ
- ・地車(だんじり)
- ・芝すべり

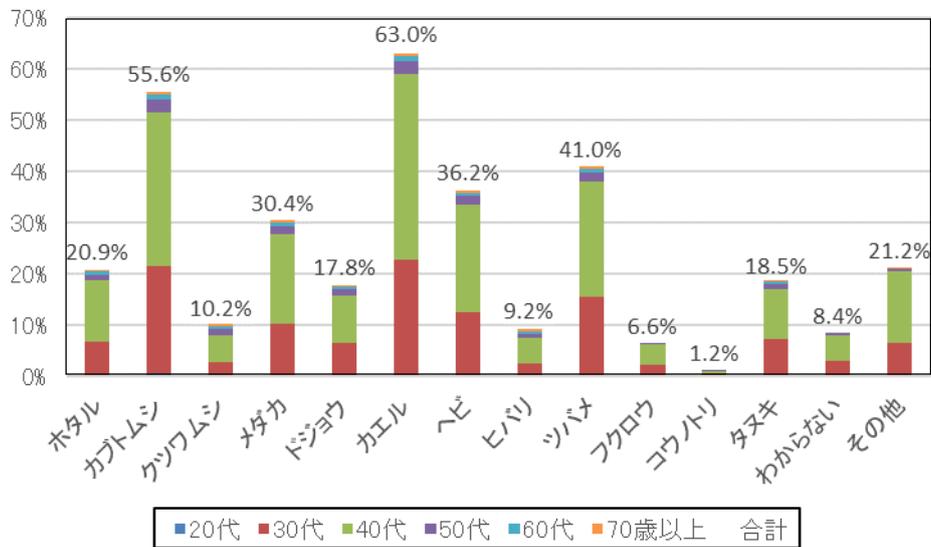


前回調査時の結果

(年代別集計)



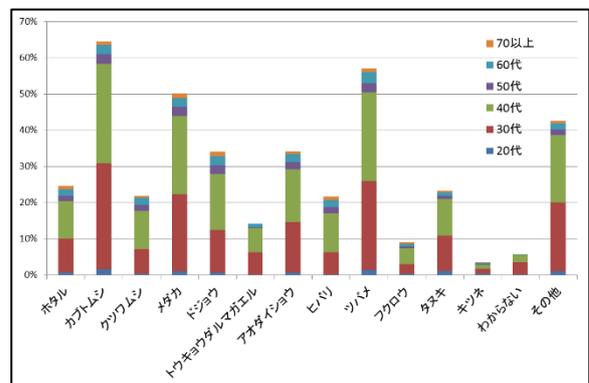
■問9：子どものころ、家の近くや通学路、あそび場には、どんな生きものがいましたか？（複数回答）



- ・子ども調査と同様に、詳細な種レベルでの確認を意図したものではないため、(前回) トウキョウダルマガエル → (今回) カエル  
(前回) アオダイショウ → (今回) ヘビ  
と回答選択肢を変更した。その結果、「いる」との回答割合が増えた
- ・カエル、カブトムシ、ツバメ、ヘビ、メダカの回答が多かった
- ・年齢層別では、すべての年齢層でカブトムシ、カエルの回答が多かった。また、メダカ、ドジョウは50代以上と40代以下とで割合に差が見られた

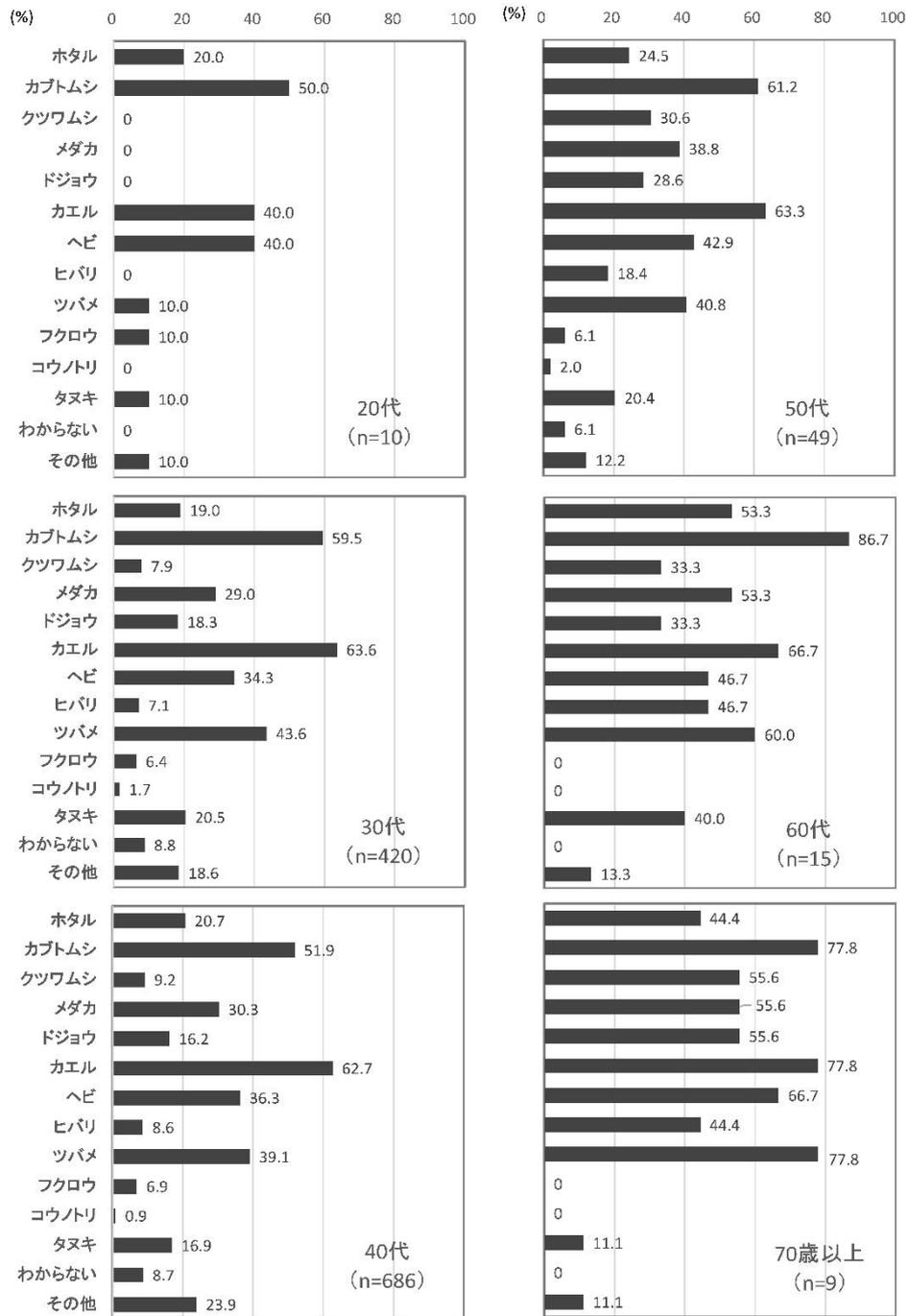
(回答「その他」の例)

- ・トンボ、イナゴ、アリジゴク、カイコ、アメンボ、バッタ、タガメ
- ・ザリガニ、サワガニ
- ・タニシ
- ・白鳥、キジ、キツツキ、カワセミ、ツル
- ・キツネ、イタチ、ウサギ、ハクビシン、コウモリ、モグラ
- ・トウキョウサンショウウオ
- ・オイカワ、ウグイ、アユ、ギンブナ、ヨシノボリ、ウナギ、ナマズ

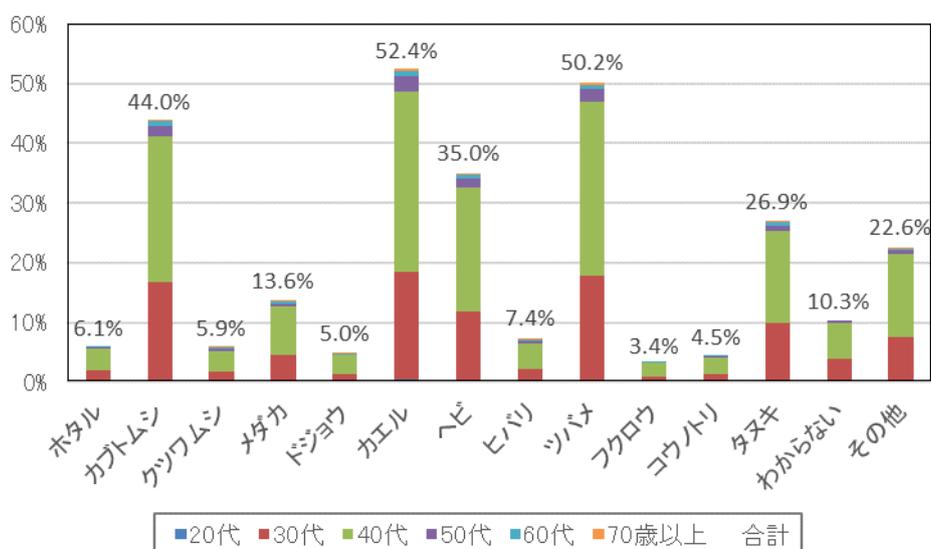


前回調査時の結果

(年代別集計)



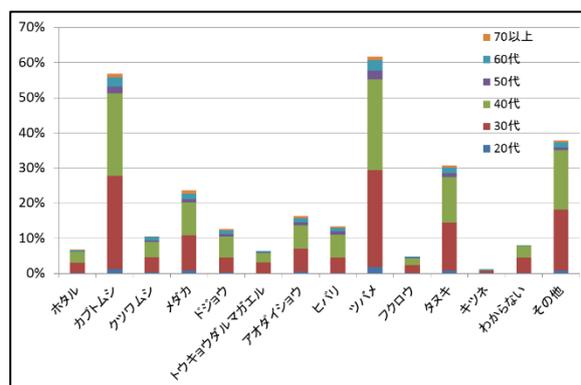
■問10：現在（げんざい）、家の近くや周辺には、どんな生きものがいますか？（複数回答）



- ・カエル、カブトムシ、ツバメ、ヘビ、の回答が多かったが、前問との比較で、ホタル、メダカやドジョウを見ることが減ったことがわかる。
- ・ドジョウやフクロウと同程度の割合で、コウノトリが暮らしていることが認識されている。
- ・年齢層別での大きな違いはなかった。

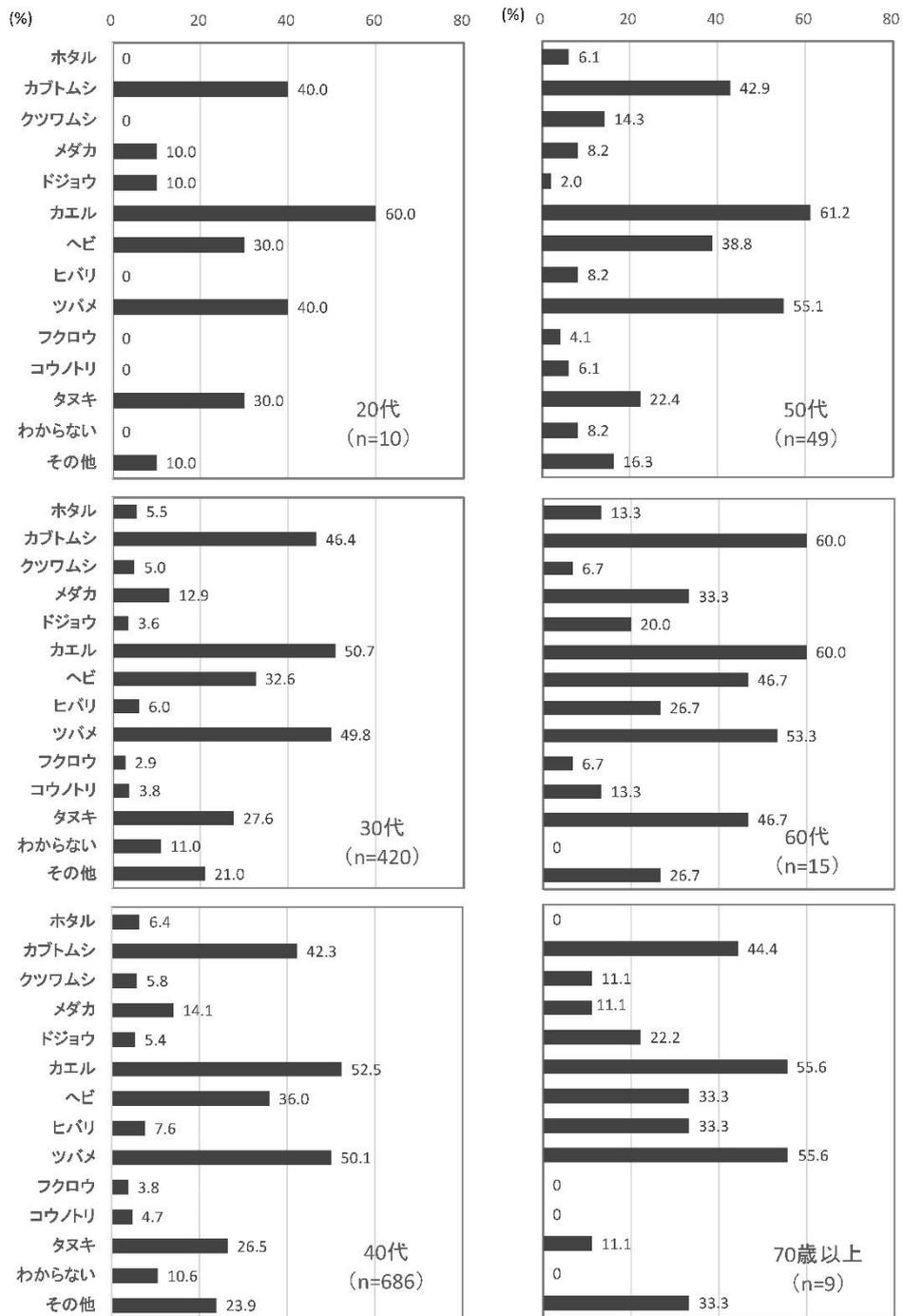
（回答「その他」の例）

- ・クモ、ダンゴムシ、アリ、ミミズ、カメムシ
- ・カマキリ、バッタ、セミ、クワガタ
- ・コウモリ、ハクビシン、ネコ、アライグマ、モグラ
- ・アメリカザリガニ
- ・ヤモリ、トカゲ、ミドリガメ（ミシシippアカミミガメ）
- ・ハト、カラス、スズメ、ハクセキレイ、白サギ、トビ、ごいさぎ、オナガ
- ・特にいない

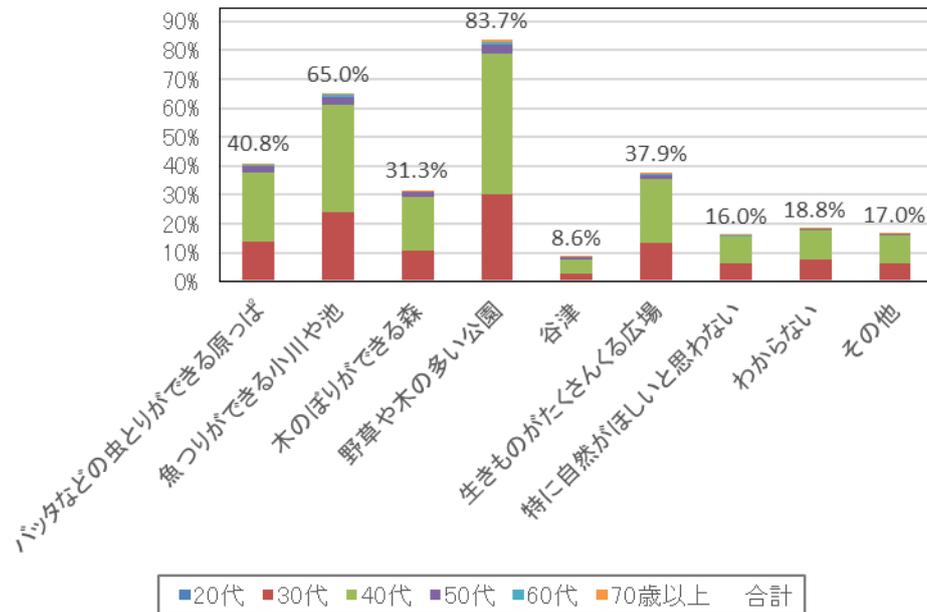


前回調査時の結果

(年代別集計)



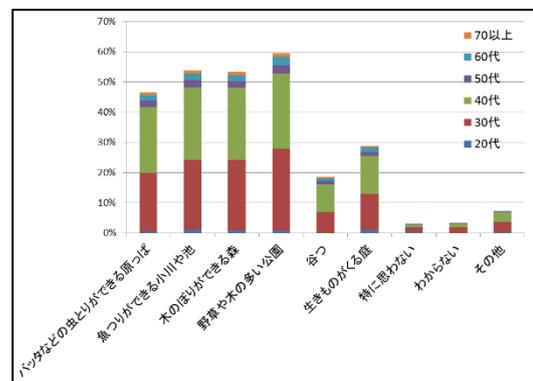
■問11：家の近く、または野田市内に、どんな自然があったらいいな、と思いますか？（複数回答）



- ・野草や木の多い公園、魚つりができる小川や池の回答が多かったが、前回調査との比較から、原っぱや森を希望する割合が減ったことがわかる。
- ・年齢層別での大きな違いはなかった。

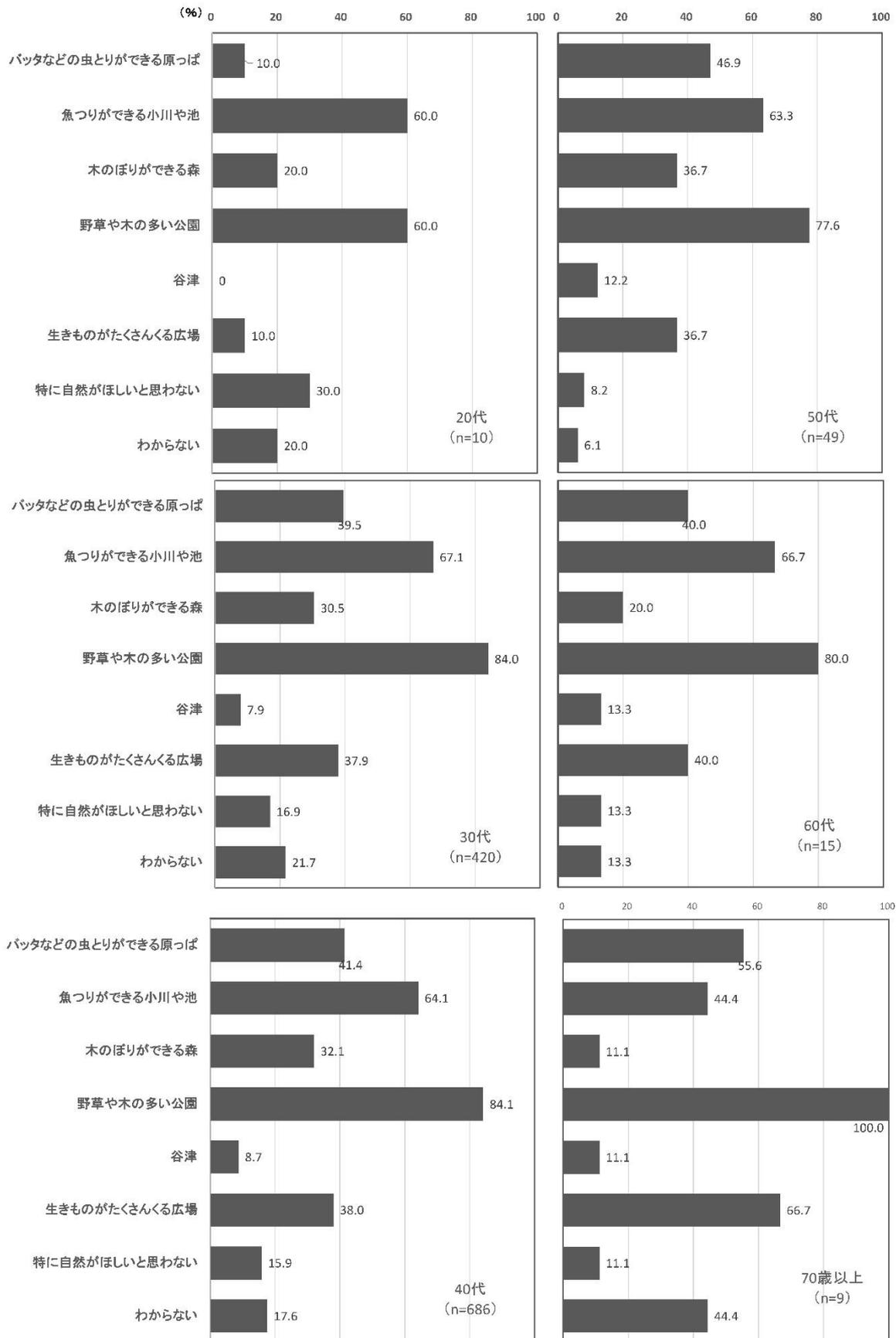
（回答「その他」の例）

- ・野田市にもっと子どもが遊べる自然の場があればいいなと思います
- ・子どもが遊べる広場や公園が少なすぎると思います
- ・は虫類が来る広場
- ・空気がきれいな自然、水のきれいな川
- ・川のある遊歩道・竹林
- ・住宅が多いので、木や水路などが多くあり自然が多くあったらよいと思います
- ・子どもたちがじゆうにあそべるばしょ
- ・つりができる小川
- ・市民の森を増やす
- ・コウノトリが自然に飛んでいる場所になってほしい
- ・スポーツも出来て散策も出来るスポーツ公園を地元
- ・ホテルが住める水がキレイなすいせい植物園

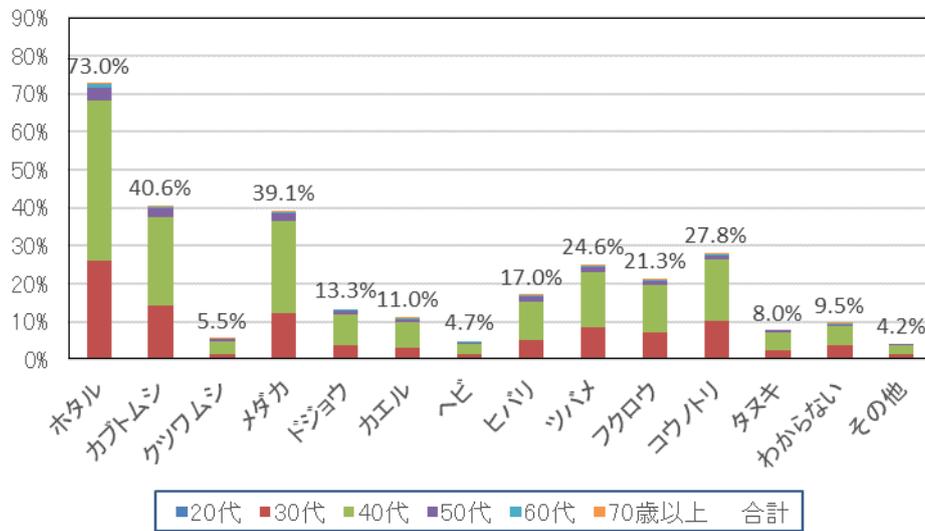


前回調査時の結果

(年代別集計)



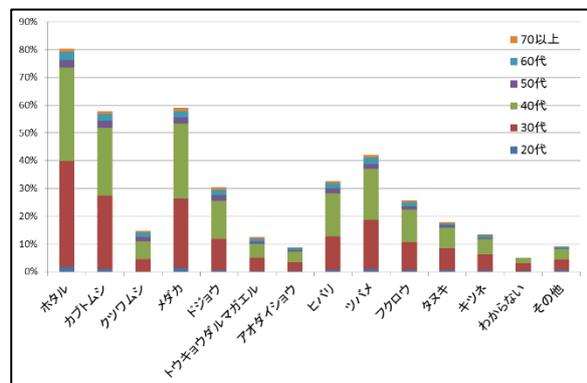
■問12：将来（しょうらい）、子どもやまごの世代になったとき、どんな生きものが野田市内でふるといいな、と思いますか？（複数回答）



- ・ 前回調査と同様に、ホタルが最も多かった。次いでカブトムシ、メダカが多く、コウノトリが4番目に多く選ばれている。
- ・ 年齢層別に見て大きな違いは見られないが、50代以上より40代以下の若い世代が、コウノトリをより多く選んでいる。

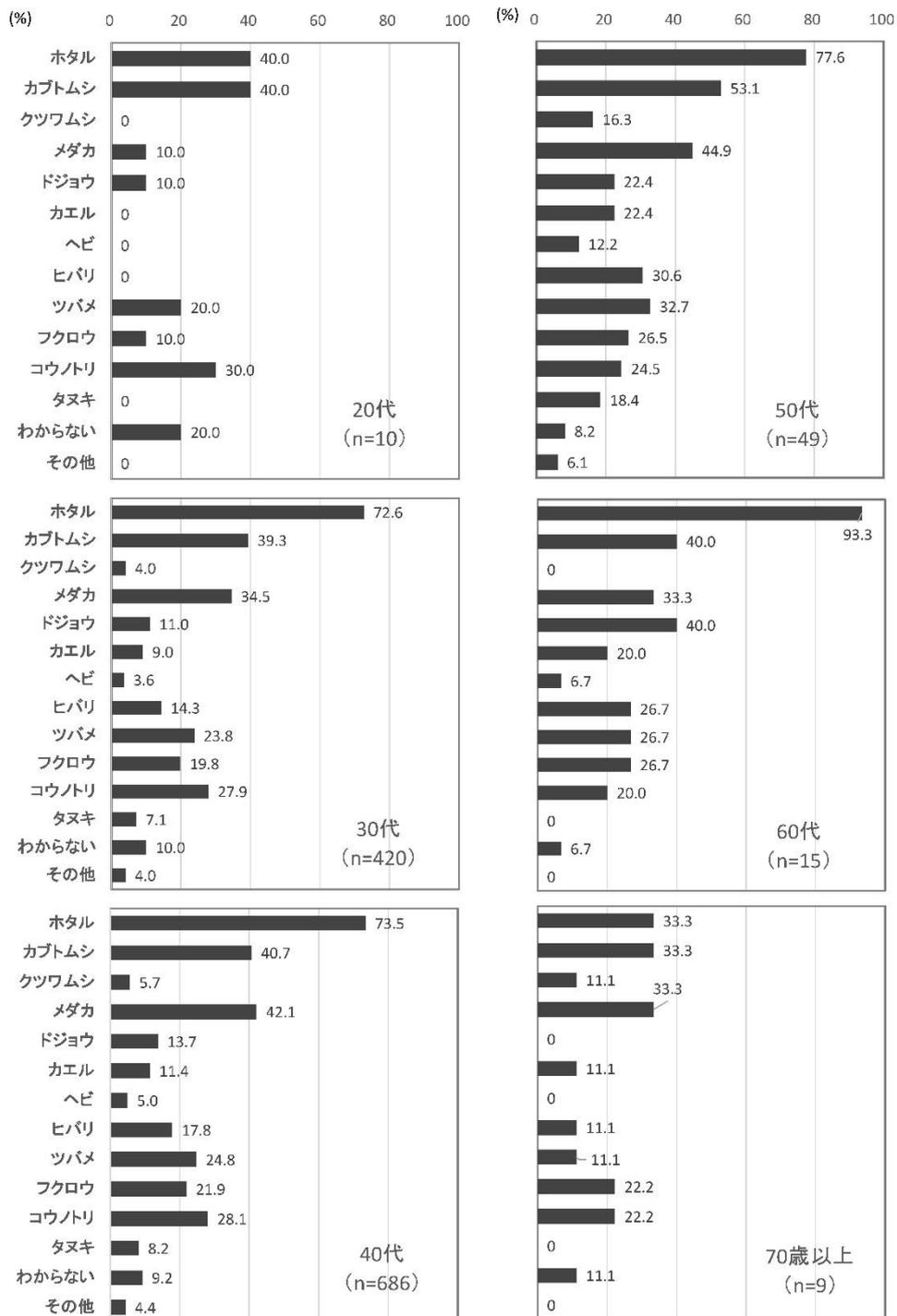
（回答「その他」の例）

- ・ トキ、キジ、カワセミ、ルリビタキ
- ・ オニヤンマ、クワガタ、カ、ナナフシ、タマムシ、クワガタ、バッタ、チョウ、カマキリ、スズメバチ
- ・ 日本カワウソ、リス、カピバラ
- ・ ナマズ、ウナギ、オイカワ、ウグイ、アユ、ヨシノボリ
- ・ 全部
- ・ 森の様な場所がたくさんあり、生物多様性を感じてほしい
- ・ 生きものはいらない
- ・ 特にない
- ・ 今より減らなければ良い
- ・ ふえなくてもへいき

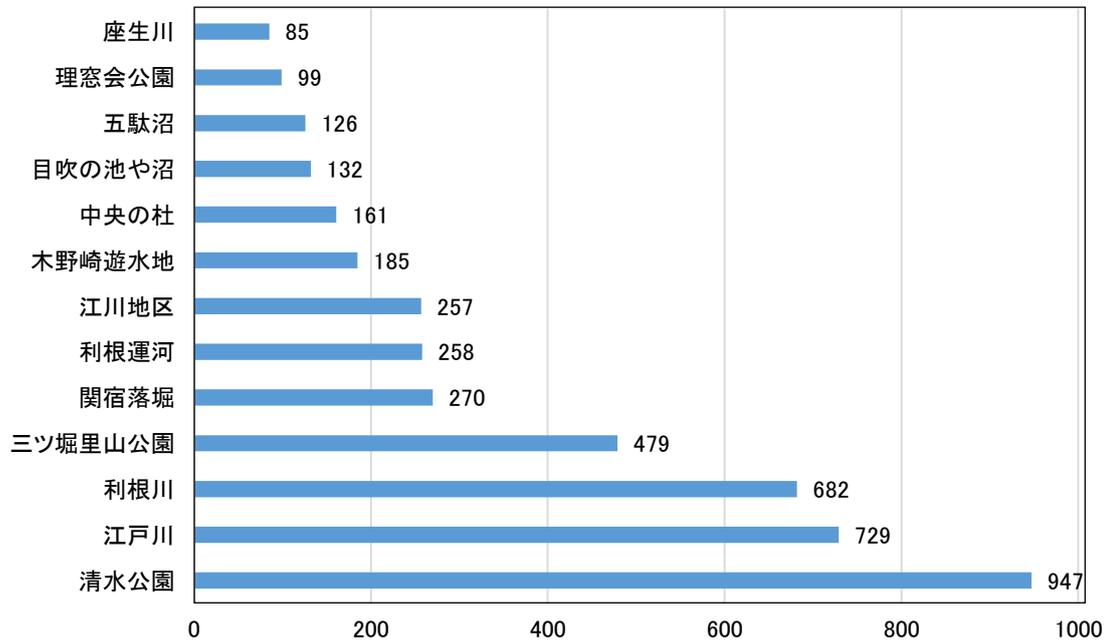


前回調査時の結果

(年代別集計)



■問13：守り残していく必要があると思う野田市内の自然はどこですか？（複数回答）

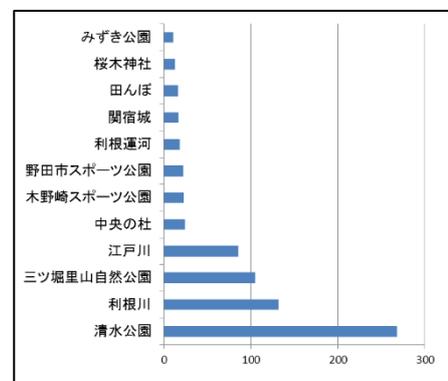


(人)

・前回調査結果と傾向は似ている。清水公園、江戸川、利根川、三ツ堀里山自然園は、前回・今回調査ともに1~4位を占めたが、今回はそれらに次いで、関宿落堀、利根運河、江川地区が同程度の割合で選ばれている。

(回答「その他」の例)

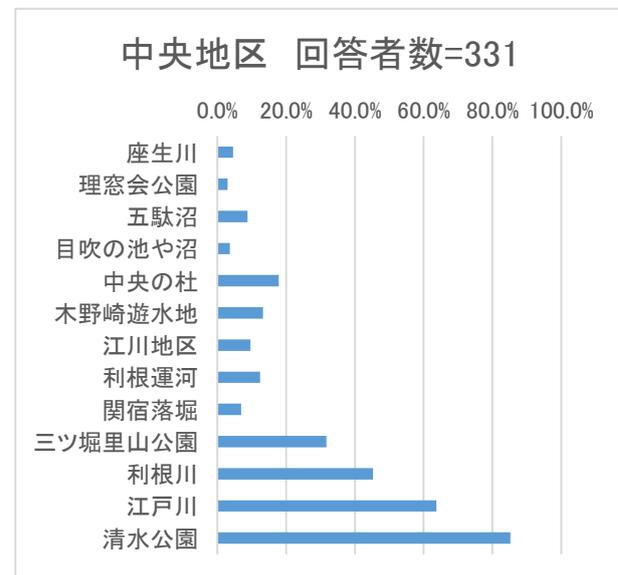
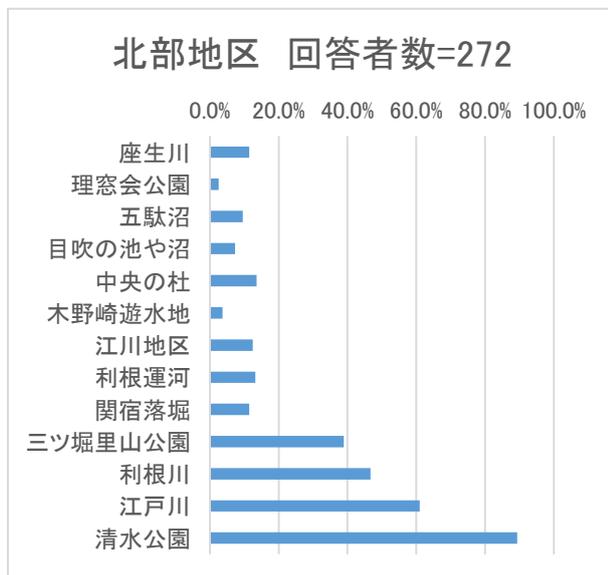
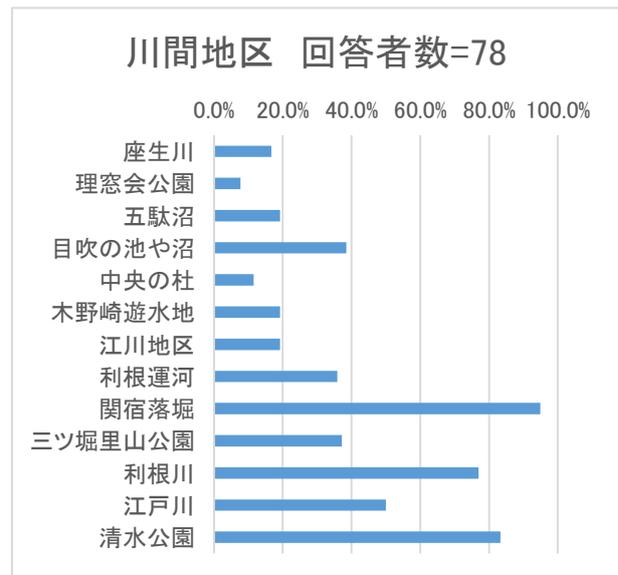
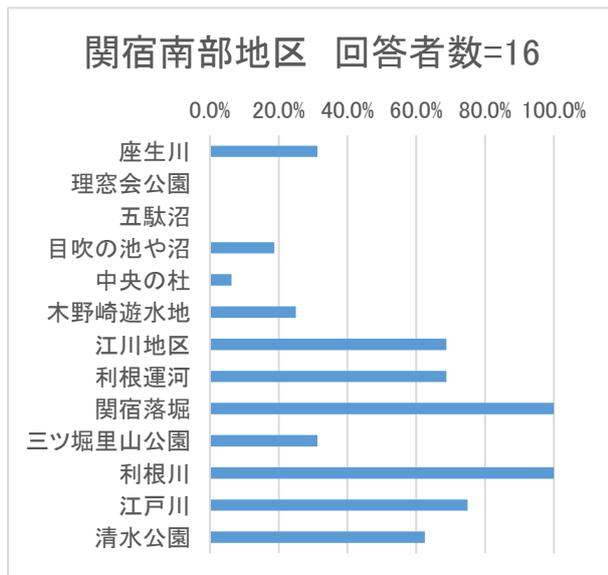
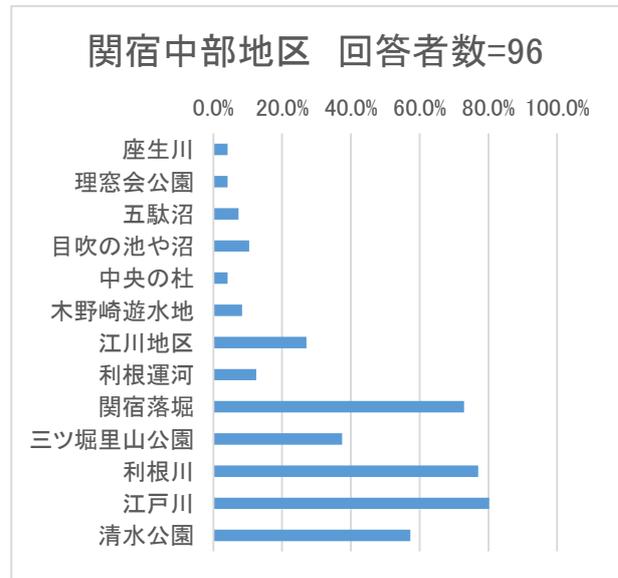
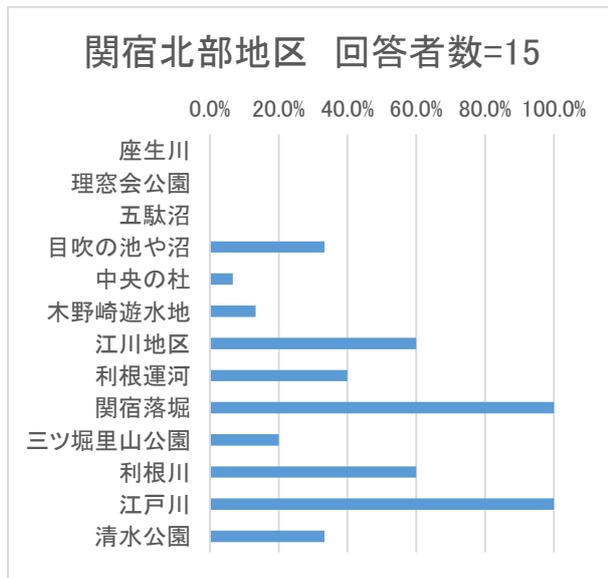
- ・コウノトリの里
- ・市民の森
- ・全ての公園
- ・竹林
- ・基本自然な物は全て、大事にしてほしい
- ・なるべくすべての自然を残していきたい
- ・かいはつされる土地
- ・関宿城
- ・雑木林（特に街なかの雑木林）
- ・関宿の立地を活かして触れ合いができる小さな牧場があると良いと思う。より命を学べると思う。
- ・自然と言うか、きちんと、整備してほしい
- ・『どこ』と聞かれても名前を知らない場所があるので答えづらい
- ・わからない

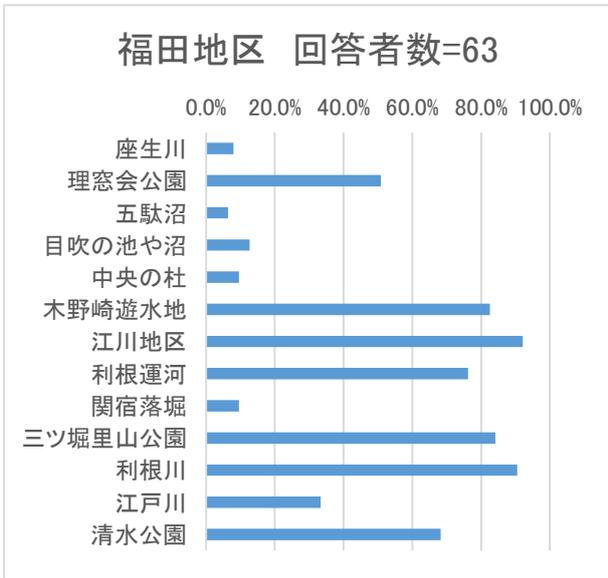
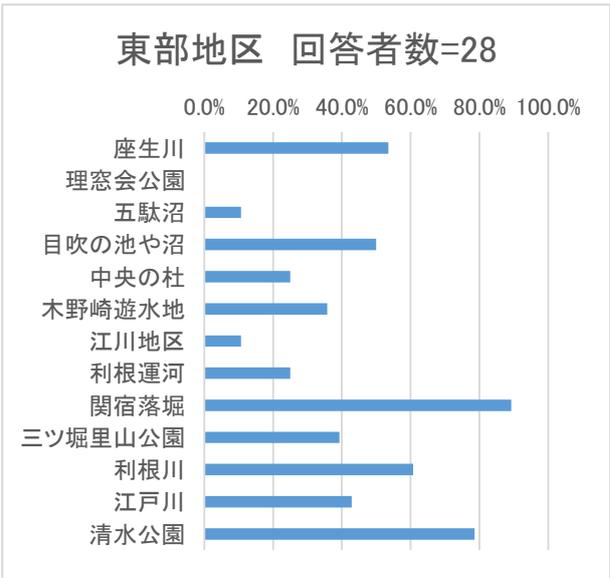
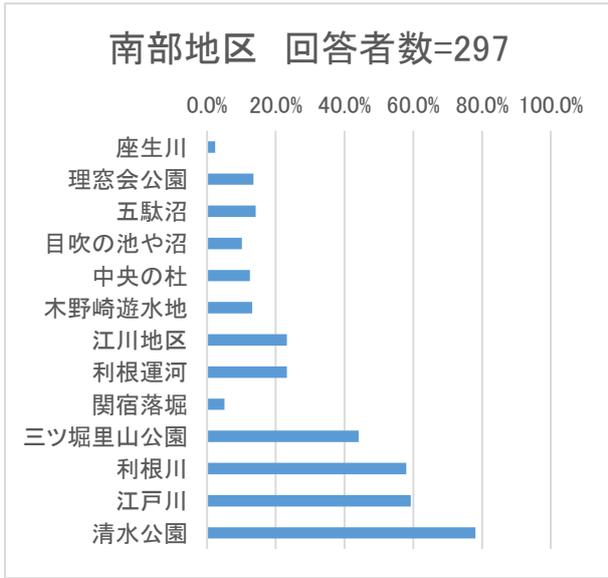


前回調査時の結果

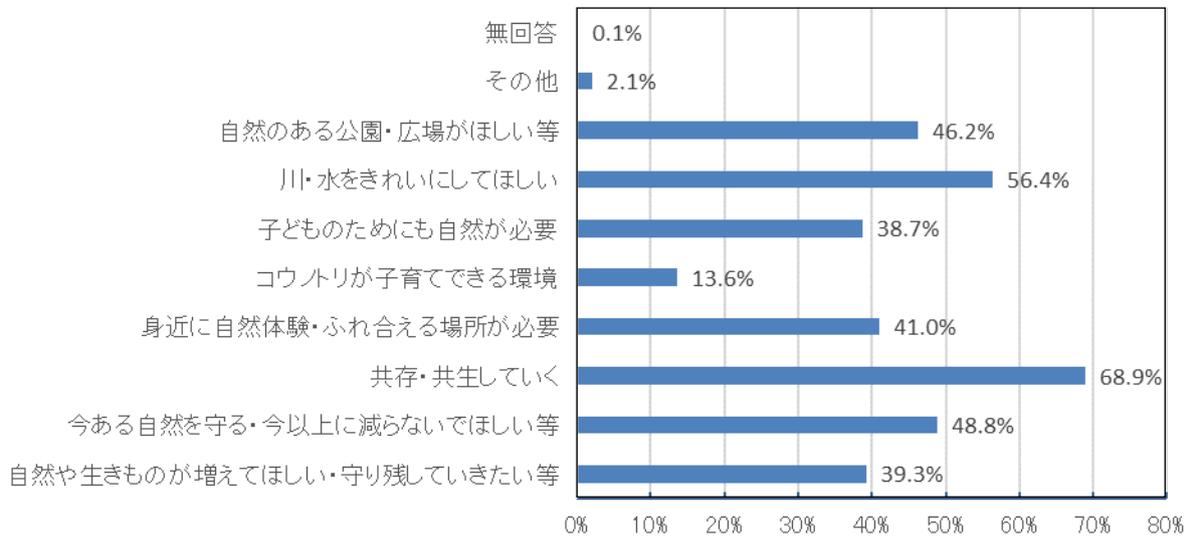
※前回は自由記述形式で実施したため、今回の結果と単純比較はできない

(地区別集計)





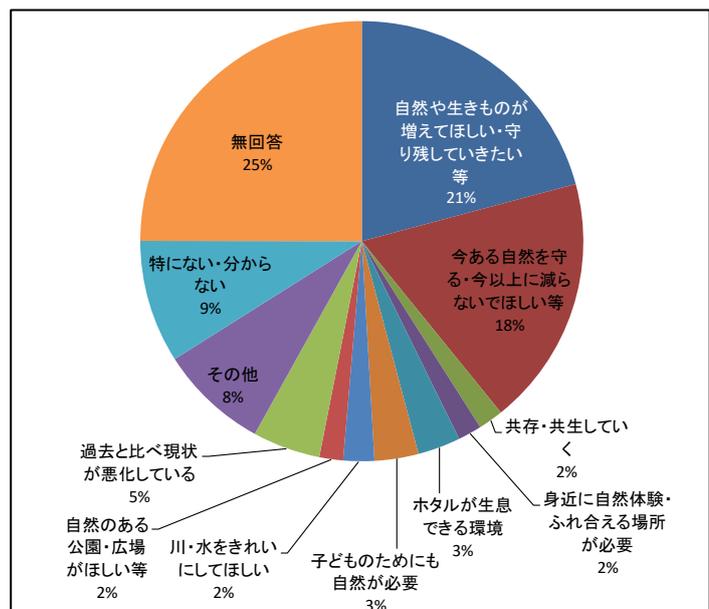
■問14：将来（しょうらい）、子どもやまごの世代になったとき、野田市の自然や生きものがどうなったらいいと思いますか？また、野田市の自然や生きものについて気になっていることがありますか？（複数回答）



・前回調査では「自然や生きものが増えてほしい・守り残していきたい」が最も多かったが、今回は「(他の生きものと) 共存・共生していく」が最も多かった。次いで「川・水をきれいにしてほしい」「今ある自然を守る・今以上に減らないでほしい」が多かった。

(回答「その他」の例)

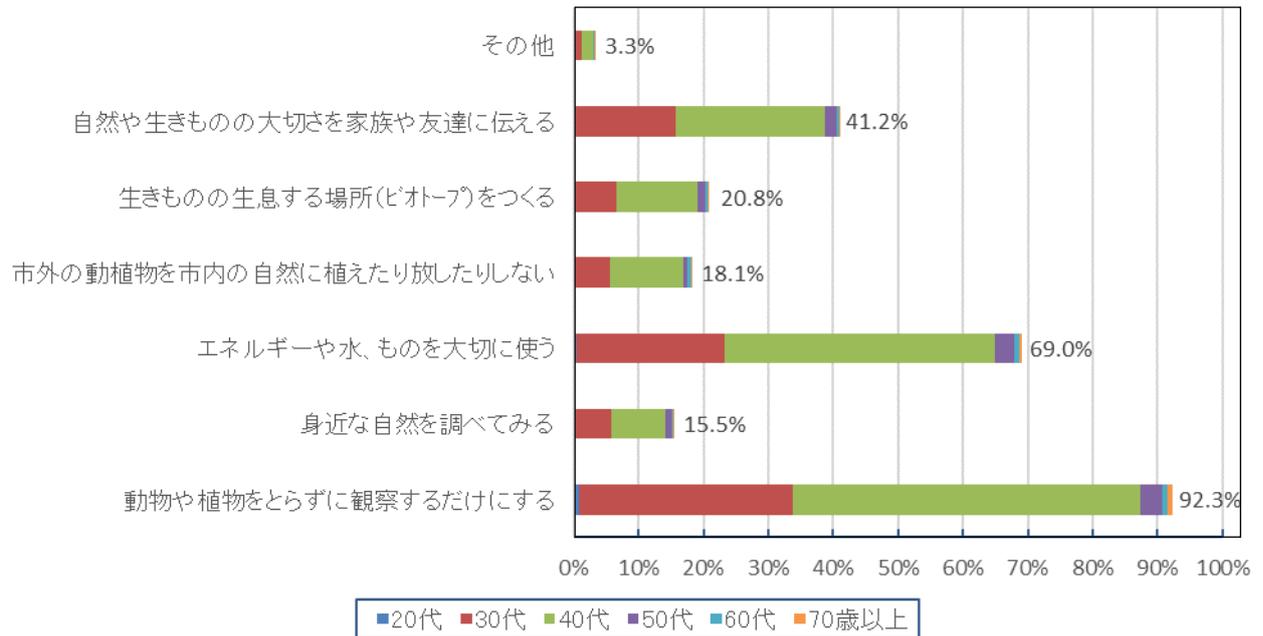
- ・全て必要
- ・整備された公園（駐車場付き）が必要
- ・木登りできる森が欲しい
- ・商業、自然をきちんとせいびして、大人になっても住みつけたいと思える野田市であってほしい
- ・本当に必要な道路について考えてほしい
- ・道路工事ばかりでなく、自然を残すことに税金使って下さい
- ・パンダが100頭くらいいてほしい
- ・外来種を減らしてほしい
- ・生きものはいらない



前回調査時の結果

※前回は自由記述形式で実施したため、今回の結果と単純比較はできない

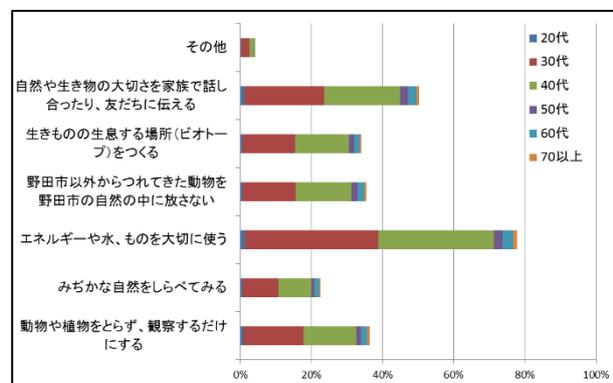
■問15：自然やたくさんの生きものを守っていくために、今、自分ができること・したいと思う事は、どんなことですか？



・子ども調査と同様に、「動物や植物をとらずに観察するだけにする」が最も多かった。他については前回調査と同様の傾向であった。

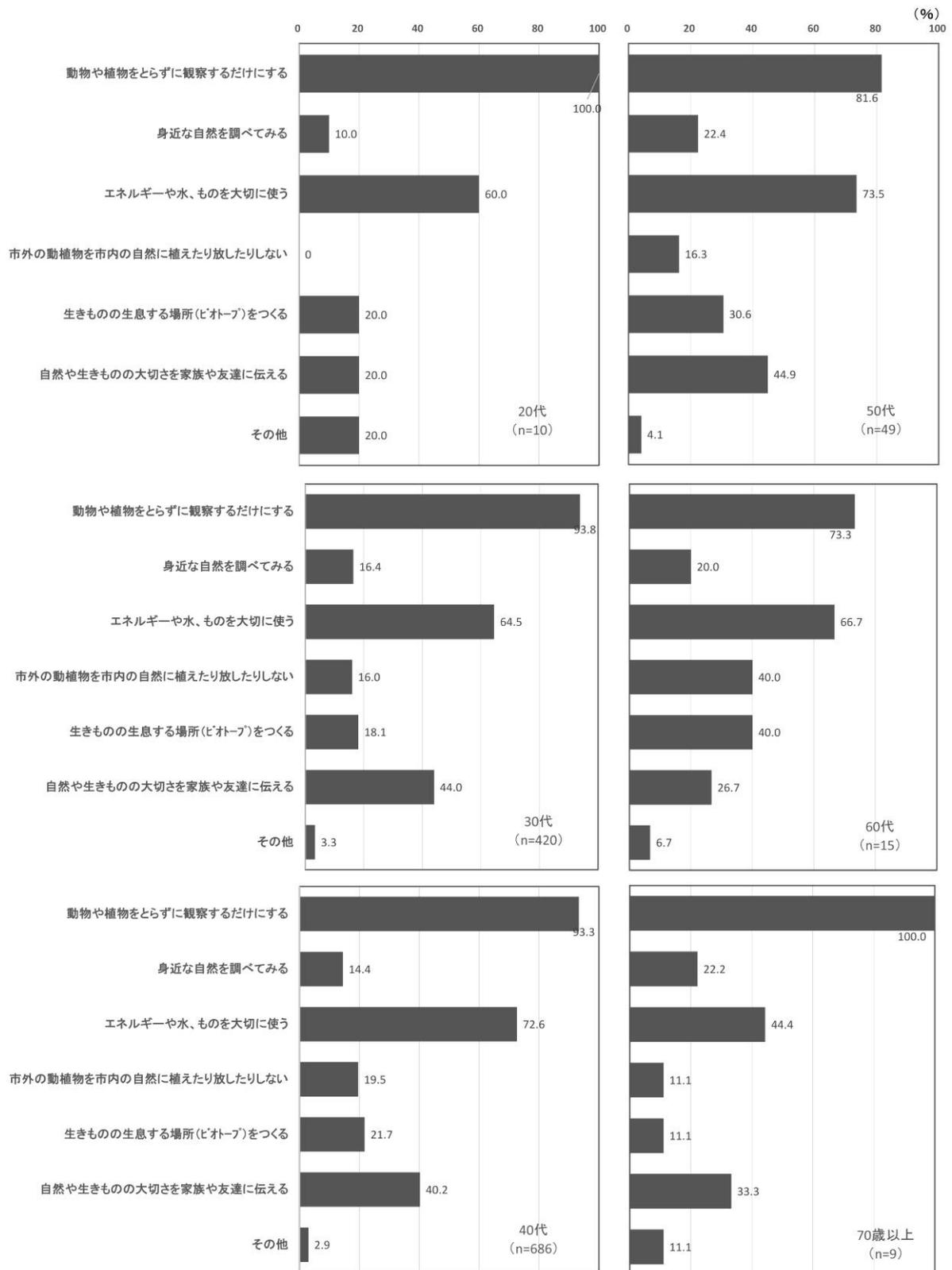
(回答「その他」の例)

- ・全て重要
- ・ポイ捨てしない、ゴミを拾う
- ・ごみをあまり出さない
- ・ゴミ拾い day を野田市のいろいろなところで年に2回やる
- ・自然をはかいしないように心がける
- ・かんきょうをよごさないことを心がける
- ・自然をこわさず増やす
- ・のうやくをつかわない
- ・林を増やす。木を育てる
- ・のらネコにむやみにエサをあたえない
- ・3R をする
- ・エコ活動、自然を守る運動
- ・イモ堀りか野さいを作るなどつたえる
- ・たばこをやめさせる
- ・全部電気自転車に変える
- ・特にない



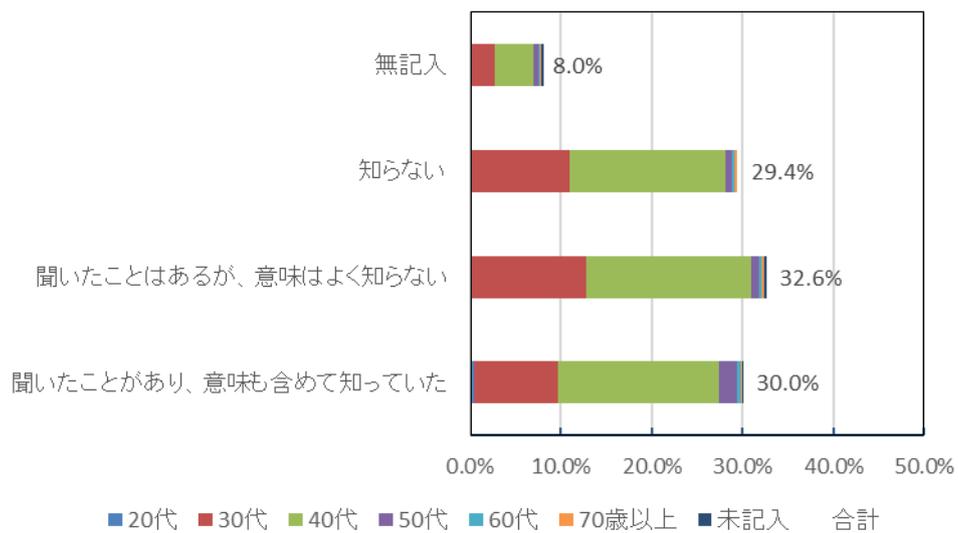
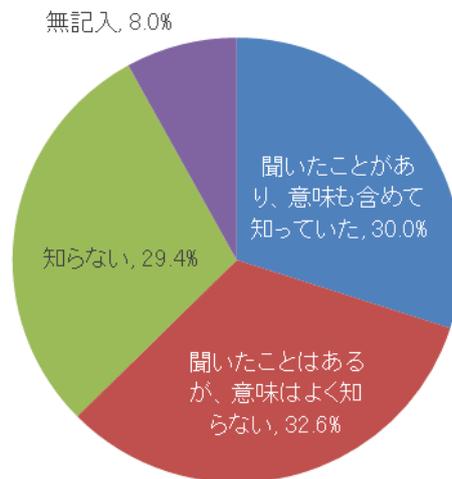
前回調査時の結果

(年代別集計)

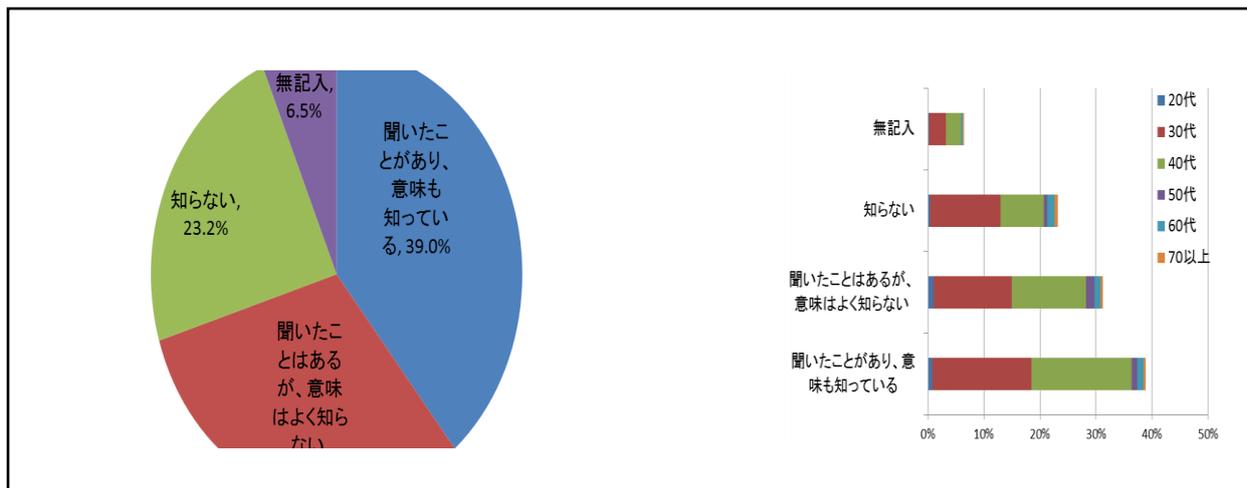


■問16：「生物多様性」という言葉を知っていますか？

N=1195



- ・ 前回調査と比較して、「聞いたことあり、意味も知っている」が減り、「知らない」が増えている。生物多様性をめぐる新たな状況（生物多様性第4の危機など）をフォローしきれていない可能性がある。



前回調査時の結果

設問外の自由記述（生物多様性に関する記述）

※回答用紙の余白に大人が直接記載したもの

“野田から自然が消えていかないような税金の使い方をしてください。”

“ゴミだらけの所は人間も動植物もくらしづらい。”

“野焼で空気が汚れています。自然を守ろうとする方がいる一方、何も考えない方がいるかぎり環境保全は無理です。”